

# THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

SEPTEMBER 1921 No. 44.



大 正 十 九 年

青 島 實 業 協 會

## 月 報

第 四 十 四 號

|     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| □ 經 | □ 協 | □ 商 | □ 海 | □ 貿 | □ 資 |
| 濟   | 會   |     | 運   |     |     |
| 統   | 錄   |     | 及   |     |     |
| 計   | 事   | 況   | 道   | 易   | 料   |

△ 本 號 要 目 ▽

大正七年八月十九日第三種郵便物認可 (每月一回二十日發行)  
大正十年九月二十日發行

# ▽青島實業協會月報 第四拾四號 目次△

## 資 料

△列國の對支貿易戰……………一

## 貿 易

△青島貿易概況(七月)……………二一

△主要輸出入貨物情勢(七月)……………二三

△民船貿易(七月)……………二四

## 海 運 及 鐵 道

△青島港出入船舶(七月)……………二五

△本邦傭船運賃近況……………二五

△青島發著主要鐵道貨物情勢(八月)……………二五

△埠頭營業倉庫業況(七月)……………二六

## 商 況

□線糸布 □砂糖 □燐寸 □白米 □花生 □花生油

□麥稈眞田 □石炭 □鹽 □生牛 □鷄卵 □桐材

## 協 會 錄 事

△小笠原九高等船員慰勞招待會……………三〇

## 銀 塊 並 爲 替 相 場

△大正十年八月中表示……………三二

## 法 規

△埠頭貨物取扱業取締規則……………三三

## 寄 贈 書 類

△大正十年八月中……………三四



資料

列國の對支貿易戰

大阪朝日新聞上海特派員武内文彬氏  
の調査發表せるもの爲參考採録す

△緒言 トーマス・ダブリユー・ラモント氏は米國の極東貿易を論じたる一節に次の様な事を云つてゐる

支那は云ふ迄も無く米國の極東貿易に最大なる機會を與へる唯一の國である我々は取引をする一つのチャンスをも有つてゐる。それは五千七百萬の人口を有する日本とでもなく、又一千三百萬の人口を有する西伯利とでもなくて、四億の人口を有する支那とである。十年前の米國對支貿易は僅かに五千五百萬弗に過ぎなかつたか、昨年（一九二〇年）の貿易額は三億七千百萬弗強になつた。而も支那の對外貿易總額が増進した爲米國の對支貿易額は支那對外貿易總額の一割六分五厘にしか當つて居ないから、米國の對支貿易は將來十分發展の餘地がある

と、かうした考へは單にラモント氏のみの抱懷する意見では無く全米人の等しく抱懷する意見であらう。否啻に全米人の有する意見のみに止まらず、英、獨、佛を始め他の諸國の等しく抱懷する所であらう。されば昨年來列國對支政策乃至貿易政策の鋒先の鋭くなれるはさもこそと首肯される。世界を震撼せる歐洲大戰の終熄してより年を閱する事既に二箇年半、大戰の跡始末も大體終へて平和の戰爭たる商戰は愈本舞臺に入らんとする。殊に巨額の國債を雙肩に擔つて其重さに堪へ兼ねてゐる列

國が、其重荷を輕減する有力なる手段の一は外國貿易の増進である。國內産業の發展も、商業上の努力も雖對外貿易の發展に對する一過程に過ぎまい斯くて國際貿易戰は愈激甚の度を加へんとする。而して列強の最も注意を集中しつゝあるものは將來最も有望なる支那貿易そのものである。大戰中顧みる違なりし歐洲各國の對支貿易は昨年來頓に恢復の兆を示して、戰時中杜絶の状態なりし獨逸の對支貿易すら昨年は其總額七百七十七萬九千餘兩を算するに至つた。之に反して日本の對支貿易總額は昨年は一昨年に比較するも七千四百四十餘萬兩の減退を示してゐる。此事實は果して何事を吾人に暗示してゐるか。日本が其の獨立を確保し、東洋の覇者たる所以の途は本邦が支那に對して優越なる經濟的地位を獲得し維持するに在る。而して本邦が支那に於て優越なる經濟的地位を獲得し維持するには對支企業の充實發展を圖ると共に對支貿易の國際的競争に打勝つ事である。本邦對支貿易の消長は惹いて又本邦の國際的地位の消長に關する問題である然るに對支貿易の國際競争に打勝たんとせば、自ら其貿易内容と各國勢力の分布を明かにし、過去及び現在の狀態を究めて將來を推理豫測し、依て以て其力を注ぐべき點を明かにするを以て大前提とする。幸にも最近海關より一九二〇年度の統計年報が發行されたから、最新の統計を用ひて、昨年の貿易を中心としつゝ暫く支那貿易の過去を顧みて現在に及び、其貿易内容を窺ひ、列國勢力の消長と其將來を論じて、七千萬同胞の反省と奮起を促したいと思ふ。

兩相場の變動海關統計の金額は凡て海關兩を單位とされて居り従つて海關兩と各國貨幣との比價を知る事が、支那貿易を理解する上の必要條件であるから、本論に入るに先ち先づ一九一

一年より一九二〇年に至る十年間に於ける一海關兩の日、英、米貨に對して有する價值を表示説明する事とする

| 年次 | 日    | 英         | 米    |
|----|------|-----------|------|
| 一一 | 一・三二 | 二志八片四分一   | 〇・六五 |
| 一二 | 一・四九 | 三志〇片八分五   | 〇・七二 |
| 一三 | 一・四七 | 三志〇片四分一   | 〇・七三 |
| 一四 | 一・三四 | 二志八片四分三   | 〇・六二 |
| 一五 | 一・二五 | 二志七片八分一   | 〇・六九 |
| 一六 | 一・五四 | 三志三片一六分一三 | 〇・七七 |
| 一七 | 一・九八 | 四志三片一六分一三 | 一・〇三 |
| 一八 | 二・三七 | 五志三片一六分七  | 一・二六 |
| 一九 | 二・七二 | 六志四片      | 一・三九 |
| 二〇 | 二・三八 | 六志九片二分一   | 一・二四 |

右の數字は支那の外國爲替相場の變動に應じて海關が換算の必要上時々決定せる各一箇年間の平均相場である。而して支那は元來銀本位國であるから銀相場の低落せる場合は金本位國たる日、英、米貨の一海關兩に對して有する比價は低位に在り、從つて日、英、米貨の少額を以て海關兩を買ひ得るか、之に反して銀相場の暴騰せる場合は金貨の低落を意味するを以て、銀の安價なる場合に比しより多額の日、英、米貨を提供しなければ海關兩を得る事が出来ない

即ち倫敦銀塊相場が最低二十五片九三七五最高二十九片六二五なりし一九一三年の一海關兩は日本金一圓四十七錢英金三志〇片四分三米金七十三仙にして倫敦銀塊相場が最低四十七片最高七十八片八七五に奔騰せし一九一九年の一海關兩が日金二圓七十二錢英金六志四片米金一弗三十九仙であつた。以下單に兩と稱する場合は總て海關兩を意味する事を斷つて置く。  
△貿易額の新記錄 昨年の支那財界は多事多難であつたが、そ

れにも拘らず商品の純輸出入額は輸出五億四千六百六十三萬千三百兩、輸入七億六千二百二十五萬二千三百兩、合計十三億三百八十八萬五千五百三十兩にして、從來のレコードたる一昨年の純輸出入額を突破する事、實に二千六百七萬四千四百三十八兩にして、又復新記錄を作つた。此純輸出入額を既揭換算率を以て日本金に換算すれば、三十一億三百二十三萬八千四百十四圓の巨額となる。入超額に於ても一昨年の千六百十八萬八千二百七十兩に對して、昨年は二億二千六十一萬八千九百三十兩の巨額に上り、是亦新記錄を作つてゐる。これに金銀塊及硬貨の輸入超過額を加算すれば、昨年の輸入超過額は實に三億兩に垂んとしてゐるのである。昨年の支那對外貿易は政治上、經濟上、はた產業上種々の悲觀材料に充ち満ちたるものであつたにも拘らず、輸出入總額に於ても輸入超過額に於ても斯の如く從來の記錄を突破して新記錄を作つたのである。這是抑如何なる理由に基因するか惟ふに物價は大勢上漸次昂騰すべき性質を有する關係上、金額を以て表示する貿易額が（假令數量上の増減なくとも）漸次増加すべきは大勢上當然の理數であるが、併し物價上の比較論は戰前の如き昨年よりも物價の安價なりし時代の貿易と、昨年の貿易とを比較する場合には適用し得れども、昨年よりも物價の高價なりし一昨年乃至其他の年の貿易額と、昨年の貿易額とを比較する場合には之を適用する事は出来ない。從つて吾人は他に其理由を見出さなければならぬ。顧ふに一昨年來物價は世界的漸騰の趨勢を持續して、其何年の商品たるを論せず、買へば儲かり、買へば儲かる有様なりしを以て、一般需要の旺盛と共に太く商人の思惑心を刺戟し、投機的先物取引熱は焰々として遼原の火の如くであつた。三箇月六箇月位の先

物取引は申すに及ばず、一年乃至一年半位の長期取引が盛んに行はれた事は今尙世人の記憶に新なる所である。其結果財界は昨年三、四月を一轉機として萎靡不振に陥り、物價は低落し、新規の先物取引は殆ど皆無の状態を呈したけれども、曩に締結された長期、短期の先物契約履行期は遠慮會釋なく到來した。夫れが爲不完全乍らも順次其受渡しの履行された事は、聽て悲觀材料山積せる支那貿易が意外の數字を示すに至つた主要原因である。殊に元來投機心に富む支那商が腹一杯、力以上の先物契約を締結してゐたため、一層此形勢を助長した事は、財界反動來後一箇年を経過せる三、四箇月前、羅紗受渡問題に就き支那商と外商間に紛議が起り、支那商の泣寢入りに終つた事實に徴するも、其一般を想像するに難くはあるまい。又一面に於て列國の對支貿易に對する努力が支那貿易金額の増加を招致した一原因たる事も争ひ難き事實である。

△海關收入の増加 貿易額増加の爲海關收入も亦從つて増加し昨年中の海關收入は四千九百八十一萬九千八百八十五兩と前年に比し三百八十一萬七百二十五兩を増加し之を開戰前年たる一九一三年に比すれば實に五百八十五萬三十三兩を増加しこれまた新記録を示してゐる。今左に一九一一年より一九二〇年に至る過去十年間の海關收入を表示して見やう(單位兩)

| 年次  | 金 額        | 年次 | 金 額        |
|-----|------------|----|------------|
| 一九一 | 三六、二七九、八二五 | 一六 | 三七、七六四、三一  |
| 一二  | 三九、九五〇、六一二 | 一七 | 三八、一八九、四二九 |
| 一三  | 四三、九六九、八五三 | 一八 | 三六、三四五、〇五五 |
| 一四  | 三八、九一七、五二五 | 一九 | 四六、〇〇九、一六〇 |
| 一五  | 三六、七四七、七〇六 | 二〇 | 四九、八一八、八八五 |

昨年海關收入の内譯は輸入税二千五百十九萬六千三百八十六兩

輸出税一千七百八十七萬五千八百三十六兩沿岸貿易税二百四十八萬三千九百二十八兩噸稅百七十九萬一千七百四十四兩内地小口稅出(八十三萬五千八百兩同(入)百六十三萬六千三百三十二兩で合計四千九百八十一萬九千八百八十五兩となる勘定である。而して最も顯著なるは輸入税の増加で一昨年に比し五百五十六萬四千六百八十六兩の激増を示してゐるが、這是主として一九一九年八月一日より實施されたる輸入關稅改訂の結果である。これに反して輸出税は前年より却つて百九十五萬九千四百八十四兩を減少してゐる各港中増加率の最も顯著なるは上海で、前年に比し四百五十四萬三千三百十兩を増加せるは注意に値する大連は三十四萬五千七百九十一兩廣東は七萬三百五十三兩を各増加し、天津及び秦皇島は反對に六萬九千七百四十六兩を減少し漢口も亦前年に比較して五十四萬八千五百九十七兩の減少を示してゐる。

支那海關の優劣順序は顛倒の嫌ひはあるが紙面の都合上茲に支那五十海關昨年度の貿易額と各關の貿易上に於ける位置とを述べて置きたいと思ふ。

支那海關は五十港市に存在し、滿洲方面では愛琿、三姓、滿洲里、哈爾濱、綏芬河、琿春、龍井村、安東、大東溝、大連、牛莊の十一。北支那方面では秦皇島、天津、龍口、芝罘(煙臺)膠州(青島)の五、長江上流では重慶、萬縣、宜昌、沙市、長沙、岳州の六。長江下流でに漢口、九江、蕪湖、南京、鎮江の五。中部支那では上海、蘇州、杭州、寧波、溫州の五。南部支那では三都澳、福州、廈門、汕頭、廣州、九龍、同鐵道、拉北、江門、三水、梧州、南寧、瓊州、北海、龍州、蒙自、思茅、騰越の十八。都合合計五十港市に在るのである。各關通過の貿易額中二千萬兩以上に達するは一九一三年に於て

は(一)上海の四億二千三百三十餘萬兩を筆頭に(二)廣東の八千七百七十餘萬兩(三)天津の五千九百四十餘萬兩(四)大連の五千八百七十餘萬兩(五)漢口の五千九百四十餘萬兩(六)九龍の四千二百五十餘萬兩(七)膠州の二千八百四十餘萬兩(八)汕頭の二千八百三十餘萬兩(九)綏芬河の九にして、其貿易額順次相踵き、一九二〇年は(一)上海の五億七千七百七十餘萬圓を首位に(二)大連の一億八千二百三十餘萬圓(三)廣東の九千七百七十餘萬圓(四)天津の八千八百十萬餘圓(五)漢口の五千四百二十餘萬圓(六)安東の五千二百八十餘萬圓(七)膠州の四千萬兩餘(八)九龍の三千五百三十餘萬兩(九)汕頭の二千五百二十餘萬兩(十)蒙自の二千八百八十餘萬兩と云ふ順序で、滿洲では大連、北支那では天津、膠州、揚子江沿岸では漢口、中部支那では上海、南支那では廣東が常に優秀なる成績を示して居る。殊に上海の貿易額は各港を眼下に見下し其の貿易總額の支那貿易總額に對する割合は一九一三年には四割二分強、一九二〇年には四割三分強に上つてゐる。以て如何に上海が貿易上重要な位地を占むるかを知らるに足るであらう

(上記各港の貿易額は總金額を示すものなるを以て、再輸出額を差引ける各港市の純貿易額は上記金額よりも多少減少すべきは勿論である。)

△貿易額の激増 近代的意義に於ける支那對外貿易は、阿片戰爭の結果、從來の鎖國主義を放擲して門戸開放の餘儀なきに至つた英支間の南京條約(一八四二年)に其端を發し、一八五四年七月外人の海關管理制採用確定並に一八五八年支那と英佛間の天津條約によつて、愈通商交通の基礎確定し、爾來支那の外國貿易は駸々乎として増進の一途を辿つてゐる。今左に海關年報

初出の年たる一八六四年以後一九二〇年に至る過去五十七年間に於ける支那貿易増進の狀態を明瞭ならしむる爲に、其間に於ける輸入額及輸出額を列記して見やう(單位兩)

| 年次   | 輸入          | 輸出          |
|------|-------------|-------------|
| 一八六四 | 五一、二九三、五七八  | 五四、〇〇六、五〇九  |
| 一八七〇 | 六九、二九〇、七二二  | 六一、六八二、一二一  |
| 一八八〇 | 七九、二九三、四五二  | 七七、八八三、五八七  |
| 一八九〇 | 一二七、〇九三、四八一 | 八七、一四四、四八〇  |
| 一九〇〇 | 二一、〇七〇、四二二  | 一五八、九九六、七五二 |
| 一九〇五 | 四四七、一〇〇、七九一 | 二二七、八八七、一九七 |
| 一九一〇 | 四七一、五〇三、九四三 | 三七〇、三三八、一六六 |
| 一九一五 | 四七三、〇九七、〇三一 | 三七七、五二〇、四〇三 |
| 一九二〇 | 五七〇、一六二、五五七 | 四〇三、三〇五、五四六 |
| 一九一三 | 五六九、二四一、三八二 | 三五六、二二六、六二九 |
| 一九一四 | 四五四、四七五、七一九 | 四一八、八六一、一六四 |
| 一九一五 | 五一六、四〇六、九九五 | 四一八、七九七、三六六 |
| 一九一六 | 五四七、五一八、七七四 | 四六二、九三一、六三〇 |
| 一九一七 | 五五四、八九三、〇八二 | 四八五、八八三、〇三一 |
| 一九一八 | 六四六、九九七、六八一 | 六三〇、八〇九、四一一 |
| 一九一九 | 七六二、二五〇、二三〇 | 五四一、六三一、三〇〇 |

備考 本表並に以下輸出入額及輸出超額を示す場合の當該數字は沿岸貿易を含まざるのみならず税關の管轄内に在らざる支那式船に因る支那外國間の貿易額をも包含してゐない

即ち輸入額に於ても輸出額に於ても、大體に於て漸増の趨勢を持續し、何れも驚くべき激増を示してゐるが二元的に説明するよりも一元的に説明する方が、觀念をより明瞭ならしむると共に、其趨勢を一層一目瞭然たらしむる利益あるべきを以て、更に前記輸出入額を合計して成れる各年の貿易總金額を表示する事とする(單位兩)



| 年次   | 金 額         | 年次   | 金 額           |
|------|-------------|------|---------------|
| 一八六四 | 一〇五、三〇〇、〇八七 | 一九一三 | 九七三、四六八、一〇三   |
| 七〇   | 一三〇、九七二、八四三 | 一四   | 九二五、四六八、〇一一   |
| 八〇   | 一五七、一七七、〇三九 | 一五   | 八七三、二〇六、八八三   |
| 九〇   | 二一四、三三七、九六一 | 一六   | 九九八、二〇四、三六一   |
| 一九〇〇 | 三七〇、〇六七、一七四 | 一七   | 一、〇一二、四五〇、四〇四 |
| 〇五   | 六七四、九八八、九八八 | 一八   | 一、〇四〇、七七六、一一三 |
| 一一   | 八四八、八四二、一〇九 | 一九   | 一、二七七、八〇七、〇九二 |
| 一二   | 八四三、六一七、四三四 | 二〇   | 一、三〇三、八八一、五三〇 |

即ち輸出入總額に就て觀るに一八六四年は僅かに一億五百三十萬八十七兩に過ぎなかつたが、二十七年後の一八九〇年には二億一千四百二十三萬七千九百六十一兩と二倍以上となり、三十七年後の一九〇〇年には三億七千六萬七千七百七十四兩と三倍半となり、爾來増加の傾向益顯著にして一九〇五年には既に五億臺を突破して、六億七千四百九十八萬八千九百八十八兩と六倍半に増加し、歐洲開戦の前年たる一九一三年には九億七千三百四十六萬八千三百三兩と正に十億の壘を摩せんとし、更に休戦の前年たる一九一七年には愈十億臺に躍進して十億一千二百四十五萬四百四兩を唱へ以後逐年遞増して年毎に最高記録を残しつつ、一九二〇年、即ち昨年は十三億三百八十八萬一千五百三十兩と俄然十三億臺に躍進した。之を開戦の前年たる一九一二年に比較すれば三億三千三十一萬三千四百二十七兩を増加して、七年间に三倍に増加し之を一九〇〇年に比較すれば其増加額九億三千三百八十一萬四千三百五十六兩にして二千年間に三倍半となり更に之を一八六四年に比すれば其増加額十一億九千八百五十八萬一千四百四十三兩にして五十六年間に於て實に十二倍半と云ふ驚くべき大激増を示してゐるのである

此般々乎たる大激増は即ち支那が其貿易上の潜勢力を如何に豊

富に有するかを物語るものにして、此潜勢力は海陸交通機關の整備及び支那の企業的覺醒と共に益其實勢を發揮せんとしつつ、ある支那貿易を論ずるに方つて吾人の怪訝に堪へざるは、支那が無盡藏の富源を抱有し乍ら、面も其對外貿易が殆ど入超の連續を以て終始してゐる事である。過去五十七年間に於て出超を以て終れるは一八六四年と一八七二年より七六年に至る五年間と都合六年のみで其他の五十一一年間は全然入超の一點張りである。左に大正四年より一九一九年迄の入超額を表示して見やう

(單位兩)

| 年次      | 金 額         | 年次   | 金 額         |
|---------|-------------|------|-------------|
| 一八六四(出) | 二、七一二、九三〇   | 一九一三 | 一六六、八五七、〇一一 |
| 七〇      | 七、六〇八、六〇一   | 一四   | 二二三、〇一四、七五三 |
| 八〇      | 一、四〇九、八六五   | 一五   | 三五、六一四、五五五  |
| 九〇      | 三九、九四九、〇〇一  | 一六   | 三四、六〇九、六二九  |
| 一九〇〇    | 七二、〇七三、六七   | 一七   | 八四、五八七、一四四  |
| 〇五      | 二一九、三一三、五九四 | 一八   | 六八、九一〇、〇五一  |
| 一一      | 九四、一六五、七七七  | 一九   | 一六、一八八、二七〇  |
| 一二      | 一〇二、五七六、六二八 | 二〇   | 二二〇、六一八、九三〇 |

然らば此入超の趨勢は今後と雖も尙長く持續するであらうか何うか支那富源の開發は、交通機關の發展と共に、益旺盛に向ひ、國內工業も漸次發達しつつある現狀を以てすれば、行く行くは此趨勢を一變するかとも思はれないではないが、過渡時代に於ける外貨尊重は、國貨提唱以上の勢力を有するを常とするのみならず、支那國內工業の發達及び技術の進歩は到底其の文化生活の向上に追蹤し得ざるべきを以て、旁支那の現狀を基調として論ずれば、近き將來に於て入超の形勢を蟬脱して、出超を繼續するが如きは、誰人も想像に難する所であらう。此點は支那財政難と關聯して考察さるべき重大問題たるを失はない。

△列國との貿易趨勢 支那貿易額の増加は前述の如く實に顯著なものであるが、然らば各國との貿易趨勢は如何。將たまた其變遷は如何。左に各主要貿易國との關係に就き一九一三年、一九一九年及一九二〇年の三箇年の輸出入額を國別に表示する事とする(單位千兩)

| 國別   | 輸入     |        | 輸出     |        |
|------|--------|--------|--------|--------|
|      | 一九一三   | 一九一九   | 一九一三   | 一九一九   |
| 香港   | 一七、六六三 | 一五、六三二 | 一七、七二九 | 一三、四九五 |
| 澳門   | 六、五九六  | 五、〇五三  | 四、九五二  | 四、七二四  |
| 新嘉坡  | 八、九三五  | 一〇、一二六 | 七、五五三  | 一、一三二  |
| 蘭領印度 | 六、八七二  | 六、八四四  | 二、六〇五  | 三、〇七二  |
| 英領印度 | 八、四三二  | 二、六九一  | 六、一九〇  | 九、五九一  |
| 英國   | 九、六九一  | 六、四二二  | 一、七〇六  | 四、六八〇  |
| 獨逸   | 二、八三〇  | —      | 一、七〇三  | 一、六四一  |
| 和蘭   | 一、四四四  | 一、二二   | 八、六九二  | 一、七五九  |
| 白耳義  | 一、五八三  | 三、九    | 六、五〇六  | 三、九八七  |
| 佛國   | 五、二九一  | 三、三七六  | 四、〇七五  | 三、四二六  |
| 伊太利  | 六、四    | 九、九二   | 八、三二八  | 五、一四四  |
| 露國   | 三、一五三  | 一、四〇六  | 四、四九三  | 二、三三三  |
| 朝鮮   | 三、五七   | 九、四三   | 六、八二三  | 三、六八   |
| 日本   | 二、九三七  | 二、四六九  | 六、五五四  | 一、九〇〇  |
| 加奈陀  | 一、八六六  | 一、八八八  | 六、五    | 四、一八一  |
| 米國   | 三、五三七  | 一、〇三七  | 三、七六五  | 一、〇一一  |
| 其他   | 一、三二四  | 八、三六   | 一、一六七  | 三、三九三  |
| 合計   | 五、六三〇  | 六、七九三  | 四、三〇五  | 五、四一六  |
| 再輸出  | 一、六二八  | 三、五三二  | —      | —      |
| 純輸出入 | 五、〇〇二  | 六、四六一  | 四、三〇五  | 五、四一六  |

右表に基き、更に各國との輸出超過額及輸入超過額を算出すれば左の如し(單位千兩)

| 國別   | 一九一三  |       | 一九一九  |       | 一九二〇  |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|      | 入超    | 出超    | 入超    | 出超    | 入超    | 出超    |
| 香港   | 四、三六  | —     | 一、二九  | —     | 一、五五〇 | —     |
| 澳門   | 一、六七  | —     | 三、四   | —     | 五、〇九  | —     |
| 新嘉坡  | 一、六四  | —     | —     | —     | —     | —     |
| 蘭領印度 | 三、七三  | —     | 三、六五  | —     | 六、七二  | —     |
| 英領印度 | 四、八四七 | —     | 一、七二七 | —     | 三、三四五 | —     |
| 英國   | 八、三三四 | —     | 六、三七  | —     | 八、四六二 | —     |
| 獨逸   | 一、二一五 | —     | —     | —     | 三、五九二 | —     |
| 和蘭   | —     | 七、二八四 | —     | 一、六九  | —     | 六、九四五 |
| 白耳義  | 九、三三五 | —     | —     | 五、二四〇 | —     | 一、六七〇 |
| 佛國   | —     | 三、五五九 | —     | 一、三〇九 | —     | 一、六九四 |
| 伊太利  | —     | 七、六六六 | —     | 四、一五六 | —     | 五、〇〇六 |
| 露國   | —     | 二、五七六 | —     | 三、九八九 | —     | 一、六八四 |
| 朝鮮   | —     | 四、八九九 | —     | 一、〇三三 | —     | 一、四七四 |
| 日本   | 五、二四五 | —     | 四、五九六 | —     | 九、三六  | —     |
| 加奈陀  | 一、〇六  | —     | 一、四六三 | —     | 一、九二四 | —     |
| 米國   | —     | 二、四四三 | —     | 六、九七  | —     | 七、三六  |
| 其他   | 一、七五  | —     | —     | 一、五九三 | —     | 三、三六  |
| 合計   | 一、六八七 | —     | 一、二八  | —     | 三、〇六九 | —     |

備考 表中新嘉坡中には海峽植民地等か包含し露國は西伯利を含み日本は臺灣、米國は布哇を包含す。是等の點は前掲國別輸出入表の場合も同様である

強敵は英米獨 入超を以て一貫するは香港、澳門、蘭領印度、英國、英領印度、日本及び加奈陀にして、出超を以て終始せるは和蘭、佛國、伊太利、露國、朝鮮である。而して其他の諸國は入超、出超常なきも、一九一三年入超を以て終れる新嘉坡が一九、二〇の兩年出超を繼續し戰時中衰微の極度に達せる獨逸が、一九年に出超に終れるも、二〇年に至りて戰前同様入超となれるは注意に値すべく、殊に一三年には出超なりし米國が開戰以來減切對支貿易界に擡頭して戰前の出超狀態より一轉して日、英兩

國に亞ぐ大入超國となれるは、本邦人の最も注意せざるべからざる所である

(尙茲に所謂入超、出超は支那を本位として云ふものにして、他國を本位とするものに非ず従つて茲に所謂入超は當該外國より云へば出超にしてまた所謂出超は當該外國より云へば入超を意味するを以て誤解ならん事を望む。)

惟ふに列國の對支貿易上の競争は今後益激烈となるべく、英、米獨其他の對支政策は既に其鋒鏑を現してゐるが列國の對支貿易策は對支輸出の増加に全力を傾倒せらるべきは疑なき事實なれば、對支貿易競争は上表中、入超額(即ち當該外國を中心として云へば出超額)の最も多き諸國間に於て、最も激烈に行はるべく、従つて英、日、米、英領印度、獨逸等の間に競争を惹起すべきは火を賭るよりも明かなれば、本邦としては現在の強敵たる英、米並に恢復の色彩濃厚となれる獨逸の政策、行動に對して深甚の注意を拂ふと共に之を凌駕し、少くともこれに對抗する丈の實力を養成すべく全力を傾倒しなければならぬ。

各國貿易上の地位 支那貿易と各國の輸出入關係に就ては前回の所述によつて大要之を窺知し得たが、然らば各國の支那貿易上の地位、換言すれば各國の支那貿易に對して有する勢力並に其勢力の分布状態は何うなつてゐるか。是れ必然起るべき疑問である。然るに此問題には、各國對支貿易總金額の、支那對外貿易總金額に對する割合を算出して、之を併記する事によつて、自から明瞭すべきを以て左に歐洲大戰開始の年より十年前たる一九〇四年、大戰開始の前年たる一九一三年、休戰條約成立の前年たる一九一七年及び昨年即ち一九二〇年の四箇年間に於ける、主要貿易國對支貿易額の、支那對外貿易總金額に對し

て有する割合を併列して、勢力の分布状態を知ると同時に、勢力の變遷を窺ひたいと思ふ。

|       |       |      |      |       |
|-------|-------|------|------|-------|
| 英 國   | 一九〇四  | 一九一三 | 一九一七 | 一九二〇  |
| 日 本   | 三七%四七 | 四八%〇 | 三九%七 | 四三%九  |
| 米 國   | 一六%九八 | 一九%七 | 三二%四 | 二七%七八 |
| 獨 逸   | 一四%八八 | 七%六  | 一五%二 | 一六%一〇 |
| 佛 國   | 九%一四  | 四%五  | —    | 〇%五三  |
| 露 國   | 八%一一  | 五%三  | 三%〇  | 二%四六  |
| 伊 太 利 | 五%一一  | 六%七  | 五%八  | 〇%九四  |
| 和 蘭   | 三%一六  | 〇%九  | 〇%四  | 〇%四二  |
| 白 耳 義 | 二%三六  | 二%二  | —    | 〇%六二  |
| 葡 萄 牙 | 一%三九  | 二%二  | —    | 〇%六三  |
|       | 〇%〇七  | 一%二  | 〇%九  | 〇%四四  |

右表は海關年報國別貿易表を基本とし且、該國別貿易額が總輸出入額を示して純輸出入額を示さざる關係上右より英國向再輸出額を控除して純輸出入額とし、更に各國の屬領地植民地等の貿易額は、總て其本國の貿易額に加算して作製せるものである従つて英國は香港、新嘉坡、英領印度、濠洲、南阿、加奈太を含み、日本は臺灣、朝鮮、米國は布哇、比律賓、葡萄牙は澳門を包含してゐる。而して一九一三年及一九一七年の兩年が厘止九にし一九〇四年、一九二〇年の如く毛に及ばざるは倫敦ジョージ・ルートレツチ會社發行ナイイナ、イヤ、ブツクの計算を其儘踏襲せる爲である。

右表に示す如く、支那貿易上長く其首位を占め、支那貿易額の四割乃自五割方の貿易額を有しつゝありし英國は、昨年度に於ても亦依然嶄然として頭角を現し、四割二分九厘と云ふ巨數を示してゐる。尤も英國の貿易内には香港對支貿易の全額を含み、且香港は元來中繼港たる關係上、英本國及び其屬領地に對

しては素より、歐洲大陸、米國、日本、支那沿岸諸港等に對しても輸出輸入の兩者に互り中繼港の役目をつとめ、其貿易額も三億兩に近く、前記屬領地植民地等を併せたる全英國の貿易總額は五割二分強を占むるのみならず、香港の對支貿易額は比律賓を併せたる米國の對支貿易額よりも六千五百萬兩近くも多いのであるから、英國の對支貿易上に於ける勢力は此點に於て可成割引をしなければならぬのは勿論である。

英國に亞ぐは日本の二割七分七厘二毛で、米國の一割六分一厘八毛、佛國の二分四厘六毛等之に踵ぎ、日英米以外は多く論ずるに足りない。併し翻つて一九一三年の狀態を見ると日、英、米佛以外、露、獨等も相當の勢力を有し、一九二〇年分にも満たざる獨、露、蘭、白葡等は何れも分臺に在り、伊太利が單り厘臺に在るのみである。這是歐洲大戰が如何に痛烈なる打撃を此等諸國に及ぼせるかの反映にして是等の諸國は戰爭持續と共に逐年其割合を減退してゐた。けれども此等諸國の對支貿易は、今や大體に於て、漸次戰前の狀態に復歸せんとしつゝある事を否定し得なくなつて來た。

右表を見て最も吾人の注意を喚起するは、一九一五年以來全然杜絶の狀態なりし獨支貿易の復活せる事と、米國の對支貿易が大戦以來急激なる發展を告げ、本邦對支貿易が戰時中よりも減退せるに拘らず、米國の對支貿易が引續き増加の趨勢を繼續し一九一七年は一九一三年の二倍の躍進し、一九二〇年には一九一七年よりも更に増加してゐる點である。

△海運上に於ける各國勢力 對支貿易上に於ける各國の地位を論ずるに方つて閑却を許さざるは各國支那貿易就事船の増減と其の多少である。蓋し自國船にして支那貿易に従事するもの、

多少は、種々の關係に於て其國の對支貿易消長に直接間接の影響を及ぼすからである。故に次に一九一三年、一九一九年、一九二〇年の三箇年間に於ける各國の支那貿易就事船の噸數を表示して各國の勢力を比較研究する事としやう。

因に昨年の支那貿易就事船の噸數合計は一億四百二十六萬六千六百九十五噸に上り、從來の記録たる一九一四年の九千七百九十八萬四千二百十三噸を突破する事實に六百八萬二千四百八十二噸の多きに達してゐる。

|      | 一九一三年     | 一九一九年     | 一九二〇年      |
|------|-----------|-----------|------------|
| 米國   | 八、九八七、五〇〇 | 三、九六八、八七〇 | 四、七二八、三五一  |
| 英國   | 三、八二〇、〇〇〇 | 三、六二〇、三三三 | 四、〇三三、七七七  |
| 丁抹   | 三、三三三、三三三 | 一、八三六、九七〇 | 一、八三六、九七〇  |
| 和蘭   | 四、〇一〇、七〇七 | 四、〇一〇、七〇七 | 五、五八八、八〇〇  |
| 佛國   | 一、三三三、三三三 | 四、〇一〇、七〇七 | 八、五三九、九七九  |
| 獨逸   | 六、三三三、三三三 | —         | —          |
| 伊太利  | —         | 五、一四三、三三三 | 一、九五九、〇〇〇  |
| 日本   | 三、四三三、四三七 | 二、七五三、四九三 | 三、八一九、五三三  |
| 日威   | 七、九三三、三八  | 三、〇三九、九三九 | 四、八五一、二二   |
| 露國   | 二、八三三、〇〇〇 | 五、〇三九、九三九 | 九、八八六、四〇〇  |
| 葡牙   | 一、六六七、七九六 | 七、八四七、四〇〇 | 九、三三三、三三三  |
| 瑞典   | 七、〇三三、〇〇〇 | 五、〇三九、九三九 | 七、〇三三、〇〇〇  |
| 無條約國 | —         | 一、九三三、三三三 | 七、〇三三、〇〇〇  |
| 支那汽船 | 一、四七四、四三三 | 三、三三三、三三三 | 三、三三三、三三三  |
| 支那戎克 | 五、一五九、六二九 | 四、五三三、三三三 | 四、〇三三、〇〇〇  |
| 合計   | 九、三三三、三三三 | 九、三三三、三三三 | 一〇、四二六、六六六 |

備考 一九一三年は上掲各國の外奥匈國の二八五、八〇二噸あり故に上記の如く合計九三、三三四、八三〇となる

即ち船舶噸數に於ても英國は依然第一位にあつて一九二〇年は四千萬噸以上に増加し次は日本の二千八百萬噸餘次は支那の二



千三百萬噸餘第四位は米國の四百七十萬噸で露佛、和、の諸國は上記四國に比し比較にならぬ程の遜色を有する。而して一九一九年二〇年を一三年に比較するに貿易金額に於けると同様歐洲諸國は何れも戦争の打撃によつて噸數の減退を示し獨り海運界の覇者たる英國が増加の異彩を放つてゐるのみである。

表を見て吾人の注意を喚起するは英、日、米、支船の増加で一九二〇年を一三年と比較すれば英國は戦時中の減退傾向を蟬脱しつつ、二百十九萬五千四百七噸を増加し、日本は堅實なる歩調を以て四百七十六萬七千五百噸を増し、米國は三百八十一萬九千五百一噸を増加し支那は八百八十八萬七千八百四十三噸を増して増加噸數の首位を占めてゐる點である。

米船増加と支那船の激増は一は大造船計畫遂行の結果にして一は獨船押收と海運的覺醒の結果であるが米、支兩海運は本邦にとり最も恐るべき將來の強敵である。

(因に支那の増加は汽船に就てのみ云ひ得るので、戎克船は却て減退してゐる。這是支那汽船の増加に伴れて生すべき當然の歸結であらう)

各國船の割合更に各國海運の支那貿易上に於ける地位に對する觀念を明瞭ならしむる爲、一九一三年、一九一七年及び一九二〇年の三年間に於ける各國出入船舶の噸數歩合を左に掲げて置く。

|    | 一三年   | 一七年   | 二〇年   |
|----|-------|-------|-------|
| 米國 | %九六   | 一%三〇  | 四%五二  |
| 英國 | 四〇・八四 | 三八・六四 | 三八・六七 |
| 丁抹 | 〇・一三  | 〇・一六  | 〇・一八  |
| 和蘭 | 〇・四三  | 〇・八二  | 〇・五四  |
| 佛國 | 一・三二  | 〇・六七  | 〇・八二  |

|      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 伊太利  | 一     | 〇〇・二  | 〇・一九  |
| 日本   | 二五・一〇 | 二八・二八 | 二七・〇四 |
| 諸國   | 〇・七九  | 〇・五五  | 〇・四〇  |
| 葡萄牙  | 〇・一四  | 〇・二三  | 〇・〇九  |
| 露國   | 一・八一  | 一・六四  | 〇・八九  |
| 瑞典   | 〇・〇八  | 〇・〇三  | 〇・〇七  |
| 無條約國 | 一     | 一     | 〇・〇七  |
| 支那   | 二一・三二 | 二七・六四 | 二六・五二 |
| 獨逸   | 六・七七  | 〇・〇二  | 一     |

即ち一九二〇年に於ては英國三割八分六厘七毛にて首位を占め第二位は日本で二割七分四毛、第三位は支那の二割六分五厘二毛、米國は四分五厘二毛で第四位を占めてゐる。噸數に於ても日本と共に支那と米國船の増加率最も高く、此點より見るも米支兩國が將來に於ける日本の強敵にして、如何に豊富に噸數増加の蓋然性と可能性を有するかを推知するに難くないのである。輸入貿易の内容、昨年中に於ける支那の純輸入貿易金額は七億六千二百二十五萬二千三百三十兩で、一昨年の純輸入額よりも一億一千五百二十五萬二千五百四十九圓を増加してゐるが、其増加原因は依然として大景氣が繼續し、爲替の奔騰亦其極に達せる最初の三箇月間に、海外へ法外なる大量注文の發せられた、めと、商品自身の價格が暴騰の極點に達してゐた、めである。従つて海關收入の増加と云ふ立場から云へば結構な年であつたが此輸入數量の増加が關係業者にとり何等の利益を齎さざりしのみか却つて實力稀薄なる多數商賈の倒産失敗を結果した事は特筆大書すべき所であらう。

昨年の輸入金額を商品別に稽查するに、輸入總額七億六千二百餘萬圓中綿製品の輸入額は二億四千七百餘萬兩にして、輸入總

金額の三割二分強を占め、依然として支那輸入貿易品中の大宗たる地位を壟斷して居る。次は金屬及び鑛石の六千二百餘萬圓で輸入總額の八分強を占め、其他の主要輸入品中、石油の五千四百萬兩、煙草の二千二百萬兩、機械の二千六百萬兩、棉花の一千八百萬兩、人造及び天然藍の一千六百萬圓等を以て鏘々たる商品とする。以下昨年の統計を中心として、支那主要輸入品の内容を解説する事としやう。

一、阿片 阿片は例の禁止令發布の結果、現今では租借地たる大連及び膠州の二港よりのみ輸入さるゝに止まり其結果輸入數量も漸減して昨年は一昨年の三百三十三擔、一昨々年の百五十六擔に對して昨年は僅かに百三十六擔二を輸入せるに過ぎない併し阿片吸入の惡習は支那人に壁風の如くへばりついて離れず又多少内密的乍ら數多の地方に於て可成盛んに罌粟の栽培の行はれ居るのみならず或は賣藥に託し、或る密輸入によつて阿片の輸入さるゝ高は禁止前程にはなくとも相當巨額に上る様である。

左に最近四年間に於ける阿片、コカイン、モルヒネの輸入數量を表示して見やう(單位擔)

|      | 阿片      | コカイン | モルヒネ  |
|------|---------|------|-------|
| 一九一七 | 二〇、四六八  | 三二   | 二一九   |
| 一九一八 | 二六、六七六  | 一五   | 一四七   |
| 一九一九 | 四八、三七五  | 一六四  | 二一〇   |
| 一九二〇 | 九六、六二七  | 二六四  | 七四一   |
| 合計   | 一九二、一四六 | 四七五  | 一、三二一 |

大連青島二港の阿片輸入額の増加と共にコカイン、モルヒネの輸入増加は果して何事を物語るか

二、綿製品 昨年中の綿布綿製品の輸入高は二億四千六百八十一萬三千四百二十九兩で、一昨年より三千七百二萬七千九十二兩を増加し、半毛織物五百七十五萬五千五百七十三兩、毛織物四百七十九萬五百十二兩、其他の織物五百七十六萬九千八百九十一兩である尙主要綿織物たる生及び晒金巾組布、綾木棉、細綾、天竺の一九一三、一九二〇年の輸入數量を供給國別に表示せば左の如し(單位反)

|    | 一          | 三          | 一九         | 二〇 |
|----|------------|------------|------------|----|
| 英國 | 一一、七〇五、四二六 | 四、五九二、二八三  | 五、七八四、〇二六  |    |
| 米國 | 二、二八一、一二三  | 六二二、四〇六    | 五六三、五八三    |    |
| 日本 | 五、七一六、五九四  | 八、八九八、八二七  | 七、〇三五、四五八  |    |
| 其他 | 九一、七九四     | 一          | 五四、五六七     |    |
| 合計 | 一九、七九四、八五七 | 一四、一一三、五一六 | 一三、四三七、六三九 |    |

即ち昨年の合計は一千三百四十三萬七千六百三十四反で一昨年よりも一九一三年よりも減少し一九一三年に比較すれば實に六百三十五萬七千二百二十三反の激減である而して日、英、米品昨年の輸入高は何れも一九一三年のそれに及ばないが、昨年を一昨年に比較した時日、米兩國品が一齊の減退を示し日本品の如き百八十六萬三千三百六十九反を減少せるに拘らず、英國品は却つて百十九萬千七百四十三反を増加し對支綿織物輸出界に減切其勢力を恢復し來れる事は、本邦實業者の一考を要する所であらう。

三、綿絲 昨年中の綿絲輸入高は百三十萬千三百三十二擔七千八百六十八萬八千四百四十七兩で一昨年に比し僅々八萬四千六百六擔を減少せるに止まる。綿絲の三大供給國たる日、露、印三國品の輸入狀態を見るに昨年中英國品は一昨年の六十六擔より一萬三千二百六十五擔に、日本品は一昨年の五十三萬九百十七擔より

り六十一萬千二百四十九擔に何れも増加せるも、印度品は一昨年の八十三萬八千百十三擔より六十六萬千六百三十三擔と却つて十七萬六千四百八十擔の激減を來してゐる。今參考の爲、一九一三年、一九一九年及一九二〇年の國別綿絲輸入高を左に掲記して置く(單位擔)

|    | 一三        | 一九        | 二〇        |
|----|-----------|-----------|-----------|
| 英國 | 五、一二八     | 六八        | 一三、二六五    |
| 香港 | 九、六八二     | 二九八       | 三一二       |
| 印度 | 一、三三〇、五六七 | 八三八、一一三   | 六六一、六三三   |
| 日本 | 一、三〇〇、九二一 | 五三〇、九〇七   | 六一一、二四九   |
| 其他 | 三九、〇六五    | 一五、八四四    | 一四、八七     |
| 合計 | 二、六八五、三六三 | 一、三八五、二三八 | 一、三〇一、一三三 |

尙本文並に表中の數額は海關年報の説明と符合せざる點あるも暫く海關年報輸入數額表の數字に従ふ事とした以下凡て海關年報中の表中に現れたる數字を以て基礎とせる事を斷つて置く。

四、金物及礦石 金物及礦石の輸入貿易は一昨年と大差なく、昨年の輸入總金額は六千五百五十六萬五千五百五十七兩にして、一昨年に比し僅に四百九十五萬六千四十兩を増加せるに過ぎない  
主要品の輸入數量は左の如し(單位擔)

|      | 一九二三      | 一九一九      | 一九二〇      |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 銅    | 二二八、一四四   | 三五七、六五三   | 四七六、一九五   |
| 鐵鋼   | 三、五二〇、〇四九 | 四、九四八、五三六 | 五、五六七、〇〇九 |
| 亞鉛引品 | 二九一、五八五   | 二一六、九四二   | 三三九、一九二   |
| 鉛    | 一一八、三三五   | 一六五、九四三   | 七三、二九一    |
| 水銀   | 六五四       | 五九六       | 四七四       |
| 鋼鐵   | 一四九、七〇一   | 二二四、〇三一   | 一六二、六七六   |
| 錫板   | 五二、七八一    | 一一四、九五五   | 五二、一二八    |
| 鐵力   | 三六三、三六六   | 四一九、〇二四   | 五八九、三三八   |
| 鐵礦   | 一、五九六     | 六一四、五一五   | 三三二、三六四   |

他品は暫く措き、本邦銅の常得意たる支那の銅輸入が、昨年は一昨年及び一九一三年の何れよりも増加し、昨年は四十七萬六千九百九十五擔と一九一三年に比し、二十五萬八千五百一十一擔即ち二倍餘の激増を示してゐる。其主因は例の銅貨濫鑄であるが、本年の銅の對支輸出は銅貨鑄造禁止問題の成行と共に興味ある問題たるを失はない。

五、機械類 最近の支那貿易中最も異彩を放てるは機械類の輸入激増である。機械類の輸入増加は其國工業の發展を意味し、從つて支那が著々として工業的に覺醒しつつある事を實證するものである。昨年の輸入金額は左表に示す如く二千二百二十六萬六千三百五十六兩に上り一九一三年よりも一千五百二十二萬九百八十八兩を増加して三倍以上の額に上つてゐる(單位兩)

|         | 一三        | 一九         | 二〇 |
|---------|-----------|------------|----|
| 農業      | 一一二、七〇〇   | 一、〇〇四、七七   |    |
| 推進機     | 六四二、二〇九   | 二、三四七、六三四  |    |
| 纖維工業    | 八三六、八六四   | 六、九〇三、六一〇  |    |
| 釀酒、蒸酒製糖 | 四八、五一七    | 二七、六三四     |    |
| 其他      | 五、四〇四、九七七 | 一一、九八三、一〇一 |    |
| 合計      | 七、〇四五、二六八 | 二二、二六六、二五六 |    |

尤も機械類の市價が騰貴せる關係上、輸入金額が三倍したれば數量も亦三倍せりとは云ひ得ざるも兎に角數量上に於ても最近減切激増を示せるは一般世人の信じて疑はざる所である。  
六、電氣材料 機械類の輸入と相並んで、吾人の興味を唆るものは電氣材料の輸入である。昨年中電氣機械の需要頼に旺盛を加へ、大小各都市に於ける大小商店の小さき電燈機械を購入据付くる者多かりし爲、電力の供給は當時の設備を以てしては不

充分たるに至つた。而して此等小機械の供給は殆ど全部米國品を以てせられた。一方設備の規模も自から大規模となり數年前二百乃至四百基を以て大規模とせられたるものが最近に於ては千基乃至それ以上を普通とざるに至つた。紡織工場製粉工場にして自家用發電機の注文を發せるものも尠くない。其結果附屬物、電燈等の需要を刺戟せるは尠々する迄もない事である。日本は附屬器具の大部分を供給し殊に安ものに於て然りであるが、米國は上等の附屬具、硝子器の大部分を供給し、ランプは上海の大規模の工場、和蘭及び日本製造家の獨占する所となつた。電氣材料及器具の輸入額は一九一三年は二百三十二萬二千三百三十九兩、一九一九年は四百九十九萬八千八百一十一兩、一九二〇年は六百二十九萬四千三百三十三兩つゝ、一九二〇年の輸入額は一九一三年の二倍七分強に激増してゐる。

七、其他主要品 其他の主要輸入品は概して増加の趨勢を示し殊に建築材料、紙卷煙草、棉花、アニリン染料、人造藍、小麥粉、紙等に於て然りであるが、然し火藥、燐寸、コンデンスミルク、砂糖等は滅切減退を示してゐる。左に一九一三、二〇の兩年中に於ける本邦人に興味あるべき主要輸入品の輸入額を對照表記する事とする。

|         |            |            |
|---------|------------|------------|
| 火 藥(兩)  | 六、七三八、四五四  | 二四二、二四二    |
| 各種袋(個)  | 三二、〇四九、七〇八 | 四五、四七〇、九二六 |
| 建築材料(兩) | 二、四四四、七八七  | 七、九一四、一二二  |
| 米 (擔)   | 五、四一四、八九六  | 一、一五一、七五二  |
| 卷煙草(千本) | 六、二〇九、〇三七  | 八、一〇四、一六一  |
| 葉 卷(千本) | 三八、五六五     | 三七、五六七     |
| 石 炭(噸)  | 一、六九〇、八九二  | 一、二五四、五三一  |
| 棉 花(擔)  | 一三四、七三五    | 六七八、二九七    |

|           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| アニリン染料(兩) | 五、四〇一、八二〇   | 七、七三〇、二九一   |
| 人造藍(擔)    | 三一九、五八六     | 一五五、六四一     |
| 小麥粉(擔)    | 二、五九六、八二一   | 五一、〇二一      |
| 肥料(擔)     | 九〇八、五五七     | 八四六、八八四     |
| 磷 寸(哥)    | 二八、四四八、一五五  | 八、四八四、二九六   |
| 煉 瓦(打)    | 四三八、七二〇     | 八九、五三三      |
| 石 油(瓦)    | 一八三、九四八、〇二五 | 一八九、五八八、五四〇 |
| 紙 (兩)     | 七、一六九、二五五   | 一四、一五九、一八六  |
| 鐵造材料(兩)   | 四、三一七、六九四   | 四、一四四、六一一   |
| 石鹼及其材料(兩) | 二、六八四、五一一   | 三、一五四、六八六   |
| 砂 糖(擔)    | 七、一一一、七二八   | 三、八五七、二八七   |

△輸出貿易 昨年中の支那物產輸出高は五億四千六百六十三萬三千三百兩で之を既述換算率(一兩に就き邦貨二圓二十八錢の割)を以て邦貨に換算すれば十二億八千九百八萬二千四百九十四圓となる。之を一昨年の輸出高に比較すれば八千九百十七萬八千七百十七兩の激減に當るが、此激減原因は、海外市場に於ける支那品の滯貨著しく國內市場當時の實情を以てしては殆ど之を賣却し能はずと思惟されたる爲め、海外よりの注文が減退せるに職由する其結果として生ぜる市價の低落も亦輸出高減退に對する一大要因を成してゐる。併し金額は必ずしも數量の表示に非ざるを以て左に主要輸出品十種に就き一九一三年一九一九年に於ける輸出數量を表示する事とする(單位千擔)

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 豆及豆製品  | 一九一三 一九一九 一九二〇       |
| 穀 類    | 二二、六三六 三八、七七一 三三、三〇〇 |
| 棉 花    | 四、〇三七 一〇、二〇九 一二、三一五  |
| 蛋粉(黃白) | 七三九 一、〇七二 三七六        |
| 胡 麻    | 一五六 六〇六 四二三          |
| 生 絲    | 二、〇三五 二、八三九 一、〇五六    |
|        | 一四九 一六五 一〇四          |



絹織物

三四

三九

三七

茶

一、四四二

六九〇

三〇六

山羊皮

七、七九四

一三、八三二

一〇、八三六

小麥粉

一一九

二、六九四

三、九六一

備考 山羊皮の單位は千枚である

尙輸出品中數量増加の顯著なるものを舉ぐれば安質母尼、銑鐵、雜金屬、小麥、小麥粉、紙卷煙草、赤及白砂糖、鮮卵及び貯藏卵等であるが、殊に亞鉛礦は一昨年の三十四擔から昨年は十五萬七百二十九擔と四百六十二倍以上に激増してゐる。之に反して數量減退の顯著なるものは精巧土布、銅塊、蠟燭、玉蜀黍、米、棉花、貯藏肉、各種種子油、羊毛、山羊毛、各種の茶などである。輸出品中金類の最も多きは豆及豆製品の八千五百萬兩を横綱とし、生絲の六千八百萬兩穀類の三千七百萬兩、毛皮類の二千二百萬兩等順次相亞いでゐる。以下重要輸出品の解説を試みる事とする。

一、生絲 昨年中の生絲輸出高は前年に比して非常の減少を來し生絲(白及黃)輸出高は一昨年の十三萬五千五百六擔に對して、昨年は僅に八萬二千五百三十擔を出でず、其の減少高は實に四萬八千九百七十六擔の巨額に上り昨年の輸出高は一昨年の輸出高の六割二分にしか當つてゐない。柞蠶絲の輸出高は二萬千七百八十五擔で一昨年より一萬千八百九十六擔を減少し、繭一萬五千九百二十五擔で一昨年の半額以下に激減してゐる。此激減は年初日本は四千五百圓、上海は千四百兩の突飛高を演じて賣措み買澁りの趨勢を馴致せると、其後財界が急轉直下世界的不況に沈淪して海外需要が確と行き詰つた爲めである。今參考の爲一九一一年より一九二〇年に至る過去十箇年間に於ける生絲柞蠶絲、繭の輸出數量を左に表示して置く(單位擔)

|    |    |        |     |        |   |        |
|----|----|--------|-----|--------|---|--------|
| 一一 | 生絲 | 九六、〇九四 | 柞蠶絲 | 三三、八三一 | 繭 | 二〇、九二五 |
|----|----|--------|-----|--------|---|--------|

|    |         |        |        |
|----|---------|--------|--------|
| 一二 | 一二一、八七七 | 三六、一六一 | 二二、八九七 |
| 一三 | 一一九、三四四 | 二九、六六二 | 二五、四六九 |
| 一四 | 八七、五一七  | 二一、〇七二 | 二三、六七九 |
| 一五 | 一〇九、〇九三 | 三四、〇〇四 | 三四、一七七 |
| 一六 | 一〇三、五六一 | 一八、六八二 | 三〇、三三三 |
| 一七 | 一〇七、五八四 | 一八、二三六 | 三三、六二三 |
| 一八 | 九六、三六六  | 二八、五八八 | 三二、七四〇 |
| 一九 | 一三一、五〇六 | 三三、六八一 | 三四、七二六 |
| 二〇 | 八二、五三〇  | 二一、七八五 | 一五、九二五 |

尙生絲輸出高を仕向國別に一九一三年と一九二〇年とを比較して表示すれば左の如し(單位擔)

|       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 香港    | 一九一三   | 一九二〇   |
| 澳門    | 四七、八五五 | 三三、八五五 |
| 安南    | 二六一    | 一六一    |
| 新嘉坡   | 四二     | 九      |
| 爪哇    | 一三、三八三 | 一二、一六〇 |
| 印度    | 一九     | 一      |
| 西班牙   | 五      | 一      |
| 暹羅    | 二六四    | 一      |
| 土、波、埃 | 三、八八八  | 二、四七七  |
| 英國    | 一、〇六四  | 一、六四〇  |
| 獨逸    | 三三〇    | 一      |
| 白耳義   | 二七、四二八 | 一六、九八五 |
| 佛國    | 一一八    | 一二     |
| 瑞西    | 六、七八〇  | 二六八    |
| 伊太利   |        |        |

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 日本     | 一二三〇   | 三一八    |
| 比律賓    | 二      | 一〇〇    |
| 米國     | 一七、六五五 | 一四、五二三 |
| 墨西哥及中米 | 一二〇    | —      |

合計 一一九、三四四 八二、五三〇

即ち一九一三年及一九二〇年の兩年共其輸出高は香港、佛國、米國、印度、伊太利、土耳其、埃及、波斯、英國と云ふ順序になつてゐる。唯中繼港たる香港への輸出が果して何國に送附され、何國が眞の需要國であるか十分判然せざるは遺憾である。

二、茶 或頃の海關統計、諸種の著書を見ると支那輸出商品の類別として、生絲、茶、其他の三種に大別されてゐる程、輸出貿易上に於ける茶の地位は重要なものであつたが、支那茶の栽培製法が依然古式の蠻法を墨守して居るに引換へ、印度茶、錫蘭茶、日本茶等の製法が改善され、其品質が向上さるゝ従つて、國際貿易上に於ける支那茶の勢力は益減殺の一方で、支那茶の輸出額は年を逐うて減退し、心ある者は支那茶の危機だと稱してゐる。之を昨年の貿易統計に徴するも昨年中に於ける紅茶及び綠茶輸出額は各十二萬七千八百三十二擔及び十六萬三千九百八十四擔で、之を一昨年に比較すれば紅茶は十六萬九百六十六擔、綠茶は八萬 千七百三十二擔の激減で、紅茶の如き昨年の輸出額は一昨年の四割五分にすら滿ちてゐないのである。今左に一九一一年より一九二〇年に至る十箇年間に於ける紅茶、綠茶、磚茶の輸出額と茶の輸出總額（單に紅茶、綠茶、磚茶のみに止まらず粉茶に至る迄全部を包含す）を表示して見やう（單位擔）

|        |        |       |          |
|--------|--------|-------|----------|
| 紅茶     | 綠茶     | 磚茶    | 茶輸出總額    |
| 一      | 一      | 一     | 一        |
| 一四、一八〇 | 六九、三三七 | 四、六六六 | 一、四三、八三三 |

|   |   |        |        |         |          |
|---|---|--------|--------|---------|----------|
| 一 | 二 | 六四、八五四 | 三〇、一五七 | 五、六、四一  | 一、四八、七〇〇 |
| 一 | 三 | 五四、一〇五 | 二七、三三四 | 六、六、〇一〇 | 一、四四、一〇九 |
| 一 | 四 | 六三、九六六 | 二六、七七八 | 五、三、八八三 | 一、四九、七九八 |
| 一 | 五 | 七二、一四二 | 三〇、六三四 | 六、四、二八  | 一、七二、三三三 |
| 一 | 六 | 六四、八三八 | 二九、八七八 | 五、〇、一八五 | 一、五三、六三三 |
| 一 | 七 | 四七、七三三 | 一九、〇九三 | 四、四、三六  | 一、二五、五五五 |
| 一 | 八 | 一四、九六三 | 一五、〇七〇 | 七、五、一六〇 | 四〇、四二七   |
| 一 | 九 | 二八、七八  | 二四、九七一 | 四、三、九四  | 六九、〇、五五  |
| 二 | 〇 | 二七、八三  | 二六、九八四 | 二、六、五   | 三〇、五九六   |

即ち各茶共逐年著しい減退を示して以前の面影更になく、之を總額に徴するも一九一五年（往來の最高記録）は百七十八萬二千三百五十三擔、一九二〇年は三十萬五千九百六擔で、一九二〇年は一九一五年の七割七分強にしか相當してゐない。尤も昨年の支那茶は珍らしい不況の年であつたから、假に一九二〇年を一九一八年及一九一九年と比較し見るに、一九一八年は一九一五年の二割三分弱で、一九一九年すら一九一五年の三割八分に滿ちてゐないのである。以て如何に支那茶の衰微せるかを窺知し得るであらう。尙一九一三年支那茶一萬擔以上を輸入せる諸國の一九一三年に於ける輸入數量と一九二〇年の輸入數量とを對比するに（單位擔）

|    |         |        |
|----|---------|--------|
| 香港 | 一〇三、三七七 | 九五、六〇七 |
| 印度 | 一七、一二四  | 九、七五九  |
| 土坡 | 一五、七八四  | 一七、六〇四 |
| 英國 | 七六、〇八六  | 三六、二八七 |
| 獨逸 | 四〇、六〇一  | 三一     |
| 佛國 | 六四、二一四  | 二八、五二八 |

埃甸國 一〇、九一八

露國 七七五、九三七

加奈陀 一〇、二五六

濠洲 一一、一八二

米國 一四三、八三五

合計 一、四四二、一〇九

備考 土波埃は土耳其、波斯、埃及等の略

即ち大顧客は何と云つても米、露、香港、英國、佛國等であるが、

上表中一九二〇年を一九一三年に比し増加を示せるは土耳其、

波斯、埃及等への輸出のみで其他は何れも減少し殊に一九一三

年輸出總額の五割五分見當に當つた露國の輸出額が昨年は僅に

總額の三分七厘見當に激減してゐる。此事業は懸てまた昨年輸

出額激減の主因を爲すもので、同時に露國の需要恢復の能否は

同時に支那茶輸出貿易の隆替に關する問題であるが、此點は或

程度迄樂觀し得ると思ふ、唯印度茶、錫蘭茶、日本茶等と對抗

せんが爲には古式を捨て、新式なる科學的基礎の上に栽培製造

を行つて品質の改善を圖ると共に現在の苛酷なる地方税の負擔

を免れしめて生産費の低下と栽培の奨勵をやる事が必要である

尤も支那政府に於ても支那茶の輸出不振に大に鑒みる所ありて

一九一九年九月十日より向ふ二箇年間各種輸出茶に對して輸出

税を免除する事とし目下實施中に屬するが、世界財界尙全き安

定を得ざる折柄なれば其實效は存外少い様である。

三、麝香 重慶は支那麝香の主要なる輸出原港であるか、その

麝香は西藏と支那本部との境に在る重要なる集散地打箭爐から

四川に運送されるのである。麝香は香水製造の重要原料である

が、支那に於ては藥品の合成原料として多量に使用せられる。

西藏產麝香鹿からとつた麝香は最も得易いと考へられてゐる。

麝香取引は戰爭によつて阻害されたけれども、今や漸次回復し

てゐる。昨年の輸出高は二萬四千四百四十七兩（數量で一兩

は我國の約十匁）五十七萬七千七十九海關兩で一昨年よりも數

量に於て三千一百一兩を減少してゐるが一九一七年に比すると八

千四百九十三兩の増加である。麝香の主要仕向國は米國、日本、

英國及び佛國である。

四、豆及豆製品 豆及豆製品の輸出金額は輸出品中の第一位に

位し、昨年の輸出高は八千五百萬兩に上り、支那輸出總金額の

約一割五分六厘を占めてゐる。

（一）豆類 昨年の輸出數量は一昨年よりも少く、黑豆、青豆、白

豆、黃豆の何れに於ても減退を示してゐるが、最も減少の顯著

なるは白豆で一九一九年の六十六萬四百二擔から十七萬四千二

百十九擔に激減し、又青豆は一九一九年の九十萬一千二百八十

四擔から四十一萬三千八十三擔に減少してゐる。

一九一八年以來日本は支那豆の主要顧客で昨年も亦其大部分を

占め全額千三百萬擔の約半額五百七十萬擔は日本への輸出であ

る、其他支那豆の主要仕向國は香港、英領印度、蘭領印度、丁抹

等である。

（二）豆粕 豆粕は日本の米肥、桑肥等として缺くべからざる肥

料で、硫酸アムモニア、智利硝石、其他の化學肥料は到底豆粕

を驅逐し得ざる關係上米及生絲市價の高下によつて豆粕市價は

左右せらるるけれども、日本の需要は旺盛である

豆粕の輸出高は昨年は千八百九十九萬八千九百三擔一昨年は二

千七十二萬四千七百六十九擔であるが昨年の輸出高中千八百十

四萬千三十六擔即ち其殆ど全部が日本へ輸出されてゐる。

(二)豆油 昨年中の豆油輸出高は百七十一萬三千四百擔で一年の二百三十六萬千六百三十三擔に比し約其半額にしか當つて居ない主要需要國は和蘭(六二三、二〇六擔)米國(四七〇、一四五擔)日本(一八三、一一九擔)等である。

五、雜穀 大麥、玉蜀黍、黍、高粱、燕麥、米、糙米、裸麥、小麥其他雜穀類昨年中の輸出高は千二百三十一萬五千擔で、黍及高粱の二百九十五萬四千擔、小麥の八百四十三萬二千擔米及糙米の三十一萬二千擔等が主たるものである。殊に小麥は今や中部支那の主要物産の一となり其結果製粉工業の前途有望にして、従つてまた製粉機械販賣の前途は有望である。昨年中の製粉(小麥粉)輸出高は三百九十六萬一千擔で、一昨年の二百六十九萬四千擔、一昨年の二百六十九萬四千擔、一九一三年の十一萬九千擔に比し其輸出货量の激増せる實に隔世の感も當ならぬ有様である。小麥粉の輸出高は斯くて益堅實なる激増を來し、其仕向先は主として英國、香港及び新嘉坡である。邦人としては何時迄も紡績にばかり嚙ちり付いてゐる必要はない大連の製油業に於ける如く中部支那に製粉工場を設立する事が必要且有利ではあるまいか。

六、棉花 昨年の棉產額は山西省山東省殊に直隸、湖北兩省不作の爲に例年以下であつた。直隸省の如きは早魃續きの爲に或地方は全く收穫を得ず其他の地方は例年の六割位の收穫を得たに過ぎ無い。其結果供給不足の爲豐作なりし印棉の輸入多く、剩つさへ世界的不況の爲に日本筋の需要鮮く市價は低位に在つた。かくて輸出高は一昨年の百七萬二千擔より三十七萬六千擔に激減し、輸入高は一昨年の二十三萬九千擔より六十七萬八千擔に激増した。輸出高の激減は主として日本の需要不振の結果

で、昨年の對日輸出は一昨年の九十一萬二千八百九十七擔、一昨々年の百二十一萬二千五百五十四擔に對し昨年の輸出高は僅に二十二萬三百十二擔に過ぎない。併し支那の紡績業紡織業は前途頗る有望であり且棉花栽培の獎勵、品質の改善が行はれつゝあり、混物禁止會なども出來て種々と努力されてゐるから、支那棉花輸出の前途は光明に充ちてゐると思はれる唯印度棉花は支那棉に比して安價なるのみならず、日本人經營の在支紡績工場は印棉五割支那棉五割位の混棉を實行するに至れる實狀より推せば棉花の輸入も亦將來増加すべきは疑ひなきものゝ如くである。

七、胡麻 昨年中の胡麻輸出高は二百五萬六千二百四十擔で、一昨年の二百八十三萬八千五百四擔に對して七十八萬二千二百六十四擔の激減であるが、作柄も例年より惡く海外需要も振はずして年末迄に全產額の約三分の一を賣却し得たに過ぎない。胡麻は歐洲方面ではこれより油を搾取して他の油の代用として使用せられ或はサラダ油の原料として、或は又人造牛酪の製造香水の搾取に使用せられし、殘物は石鹼の製造に滑劑として利用せられ粕は肥料に用ひられる。

八、種子油 豆油に就いては豆及豆製品の項下に述べて置いたが、他油も亦豆油同様昨年中の輸出は一向振はなかつた。豆油に亞いで重要な落花生油は主として日本、米國、香港等に輸出されるが昨年の輸出高は一昨年の百二十二萬四千七百七十三擔に對して僅に八十二萬六千二百七十二擔に過ぎない。胡麻油は一昨年の三萬七千七百五十五擔に對して昨年は僅か三千七百二十八擔で無茶苦茶な減少である。胡麻油の對米輸出は一昨年の二萬五千七百八十二擔より二十擔に激減し、對支輸出は一昨年の三



千三百二十七擔より七十三擔に激減してゐる。

九、桐材 昨年の桐材輸出高は五十四萬七百十六擔で、從來のレコードたる一昨年の六十一萬三千四百五十五擔に比し七萬二千七百三十九擔の減少に過ぎない。加奈陀輸出は一昨年の十二萬八千七百九十三擔より五千四百五十九擔に、英國輸出は四萬六千四百四十八擔より二萬八千二百一十一擔に各減少せるも一方對米輸出は一昨年より七萬擔を増加して三十七萬九千九百五十二擔に上り、獨逸輸出も亦一萬六千二百十六擔に上つた。

一〇、金屬及鑛石 安質母尼、銅、鉛、水銀、錫、亞鉛、其他の金屬及鑛石等此一團の輸出は昨年は一昨年に比較して著しい進歩を示し、銅板及銅塊、水銀、錫の合金、而鉛を除くの外何れも驚くべき増加を來してゐる。就中安質母尼（鉞、及粗鑛）に於て増加著しく、一昨年の不振より回復して、昨年は二十五萬八千五百四擔と一昨年より十一萬九百六十三擔即ち八割方の激増を示し、鉛及鉛鑛も一昨年の二千四百四十八擔より四萬四千九百八十九擔に著増し、鐵鑛は一昨年の千五十八萬九千三百七十五擔より千百二十九萬二千四百七十三擔に増加してゐる。雜鑛の輸出は五十萬七千八百五十六擔百五十六萬四千六百五十三擔であるが其中には蒼鉛千四百九十六擔、銅三千四百十擔、滿俺四十一萬八千七百二十五擔、モリブデン二百七十一擔、オルフラム（タングステン）を生ずる鑛六萬九千二百七十三擔、石綿八十六擔を包含してゐる。

一一、皮革 水牛皮、牛皮、山羊皮、馬皮、驢皮、騾皮、羊皮其他毛皮類昨年中の輸出は貿易の一般的不振、歐洲方面の滯貨豊富等の關係にて不振を呈し、水牛皮及牛皮は一昨年の三十八萬三千三百三十三擔より二十六萬三千三百四十三擔に激減した。此中日

本への輸出は一昨年と略同様にて十萬九千擔を算せるも對米輸出は一昨年の十二萬八千擔より四萬四千擔を減少即ち三分の一許りに減退した。牛皮及び水牛皮に次いで重要な山羊皮（不鞣）の輸出は一昨年の千二百七十三萬二千二百九十枚より九百九十六萬六千六百三十三枚に減少し、其中約九百萬枚は米國へ輸出せられた。

一二、麥稈眞田 麥稈眞田工業は芝罘が開港された一八六二年頃に既に存在した工業で爾來外人の努力によつて今や山東省中部人民の收入の重要な淵源を成し、直隸省、山西省を初め其他の小麥耕作地方には凡て麥稈眞田の製造が行はれるに至つた。中心市場は芝罘の外天津、青島の二港があるが、運輸の便利なる爲天津、青島の二港は遙に芝罘を凌駕し、昨年の輸出高五萬五千六十五擔（一昨年は十萬二千六百四擔）中一萬八千六百三十三擔は天津、一萬五千五百五擔は青島より輸出されたるに拘らず芝罘よりの輸出は僅に十五擔に過ぎなかつた。主要仕向國は日本（一二、〇〇八擔）米國（一八、八三一擔）及び英國（九、五四〇擔）である。

一三、毛 茲に所謂毛は駱駝毛、山羊毛、羊毛の三者を包含する。駱駝毛昨年の輸出高は一昨年と伯仲の間に在るも、山羊毛及び羊毛の輸出高は大減少を來した。即ち一昨年の輸出高夫々三萬九千七百七十九擔、三十六萬五千八百二十六擔、一萬九千六百八十六擔に對して昨年は三萬九千四十一擔、十萬三千七百十三擔、八千三百五十一擔に各減少してゐる。羊毛の主要仕向國は米、日兩國、駱駝毛及び山羊毛の大需要國は英、米兩國である。

一四、樟腦 臺灣は樟腦供給に關して從來世界的獨占の地位を

占めてゐたが、其産額は近年次第に減少し一九一九年は一九一〇年の五百三十六萬六千四百四十二斤に對して僅に二百十九萬七千七百八十斤を算し十年にも満たざる僅少の期間に於て半額以下に陥つてゐる。従つて臺灣の供給減は結局支那樟腦を刺戟するには非ざるか、兎に角興味ある問題たるを失はない、試みに最近數年間に於ける支那樟腦輸出額を表示して見やう。

## 年 別

數量(擔)

金額(兩)

|      |       |           |
|------|-------|-----------|
| 一九一六 | 二、三三七 | 一八一、六七三   |
| 一九一七 | 三、五四七 | 二六一、九一八   |
| 一九一八 | 五、七四二 | 四二八、〇七四   |
| 一九一九 | 二、〇九三 | 二、五九五、三二三 |
| 一九二〇 | 二、九九七 | 二、八四〇、〇四三 |

其増加の顯著なる實に旭日昇天の如き勢である。支那が舊式の製法を捨て、臺灣の如き新式製法に従ひ、一方現在の如き濫伐を防ぐと同時に植樹を奨励するに至つたならば、市價漸騰の趨勢と相俟つて、樟樟輸出の前途は天才の如く有望であらう。樟腦の産地が福建、江西、廣西地方たるは人の熟知する所である。

一五、其他 (一)剛毛の輸出は前年より稍増加して五萬八千八百五十三擔、輸出先は前年同様英、米、日等(二)蛋白及蛋黃は漸次輸出品中の重要な地位を占めんとしてゐるが、昨年の輸出高は四十二萬三千二百三擔で一昨年より十八萬三千擔を激減した。仕向先は英國へ約五割、米國へ約三割位の割合。(三)麻布の輸出高は二萬五千九百擔中二萬八百二十九擔即ち殆ど全部が朝鮮向(四)落花生殻付き及び殻無しは夫々十萬九千二百九十七擔及び百十五萬八千八百四十八擔(五)頭髮は一昨年の二萬四千五百三十七擔より二萬七百七十二擔に減少した。純毛工業は芝罘

及其附近の主要工業なるも近年衰微し、昨年の輸出額は芝罘の二百八十萬餘兩に對して上海は百九十三萬餘兩に上つてゐる。而して主要なる買人は米國(六)レースの輸出高は約六十萬兩を増しつゝ、二百六十七萬八千五百三十兩に上る。昨年の米、英其他歐洲諸國向輸出は近年珍らしき成績を示した(七)豚脂は一昨年の三十一萬七千五百二十擔より十九萬五千八百六十擔に減少(八)甘草は一昨年の十五萬七千三百八十三擔より十萬五千九百五十八擔に減少、減少主因は對米輸出減少の爲(九)牛肉、羊肉、豚肉、雞肉、野鳥肉等の輸出は一昨年は戰後歐洲食料品缺乏の爲巨額に上りしも昨年は減切不振(十)植物油は一昨年の十六萬四千五百四十四擔より六萬九千八百十八擔に激減、原因は全く對英輸出不振の爲(十一)最後に煙草(葉及莖)及刻煙草の輸出減少が目につくが、夫々昨年の三十六萬七千八百三十一擔及び七萬五千二百五擔に對して、昨年は二十七萬七千三百六十八擔及び六萬三千三百五十五擔に減少してゐる。葉及び莖煙草の主要輸出先は日本、香港及土耳其である。

△金銀貿易と爲替 金銀貿易の趨勢を見るに支那の金銀輸出入高は後述の如く其金額巨額に上るのみならず、金銀輸出入額の多少は、支那市場に於ける金銀市價、從つて又其對外爲替の騰落到に密接なる關係を有するを以て、支那貿易従事者の常に注意せざるべからざる重要事項である。殊に支那が銀本位國たる關係上、銀價の騰落が對外爲替に及ぼす威力は、金本位國間の關係と違ひ一層痛烈にして局外者の寧ろ意外とする程である、故に最近の支那金銀輸出入狀況並びに昨年の對外爲替に就き簡單乍ら茲に一言附け加へて置きたいと思ふ。

一九二〇年中の金銀貨、金銀塊、砂金、銀錠、銅貨等の輸出入額は

輸入一億七千七百三十二萬八千五百四十兩輸出一億二百十八萬五千八百八十三兩合計二億七千九百五十一萬三千七百二十三兩にして商品の輸出入總額十三億三百八十餘圓の二割強に相當する銅貨の輸出入額(一、六八二兩)を圈外に拉すれば、昨年中の金銀輸出入貿易は七千五百十三萬六千四百九十八兩の輸入超過で、更に支那に最も關係深き銀のみに就いて云へば九千二百六十三萬八千九百七十八兩の輸入超過である。金銀貿易最近の趨勢を明瞭ならしむる爲左に一九一一年より一九二〇年に至る十箇年間の金銀輸出入額輸入超過額及び輸出超過額を表示して見やう(△印は輸出超過單位兩)

| 年次    | 金 之 部       | 總 類         | 入 出 超 額 |
|-------|-------------|-------------|---------|
| 一 一   | 六、五一四、一七八   | 一、五三二、八八二   |         |
| 一 二   | 一、一三四、九五五   | 七、四五八、一〇五   |         |
| 一 三   | 七、五一六、一八〇   | △ 一、三八五、六〇〇 |         |
| 一 四   | 一四、七二三、〇八四  | △ 二、三〇〇、七五〇 |         |
| 一 五   | 一九、〇二九、八六七  | △ 七、三九二、二一三 |         |
| 一 六   | 二八、〇〇五、三八五  | 一、八〇〇、八四九   |         |
| 一 七   | 一八、八九六、三五二  | 八、八四七、二〇三   |         |
| 一 八   | 三、五一〇、〇〇一   | △ 一、〇五三、三一七 |         |
| 一 九   | 六〇、九七五、〇七二  | 四一、一八二、二一四  |         |
| 二 〇   | 一一九、四三六、二四〇 | 一七、五〇二、四八〇  |         |
| 銀 之 部 |             |             |         |
| 一 一   | 八三、八五九、九一二  | 三、八三〇、六〇〇   |         |
| 一 二   | 四五、〇九八、二九七  | 一九、二四八、六五二  |         |
| 一 三   | 七五、四五四、六一六  | 三五、九六八、三六四  |         |
| 一 四   | 四六、六二〇、四三七  | △ 二、六二二、九四九 |         |
| 一 五   | 五九、八一七、三二六  | △ 一、三八二、三一四 |         |
| 一 六   | 一〇二、八五四、七六六 | △ 二、八六八、一二六 |         |

一七 七五、九九九、六八七 △二〇、九八三、〇九八  
 一八 四八、七五二、五二一 二二、四九四、九二七  
 一九 七、〇六二、一二五 五三、一二五、二八九  
 二〇 一六〇、〇六九、七九八 九二、六三八、九七八  
 即ち金銀共昨年の輸出入總額は、金一億一千九百四十餘萬兩銀一億六千餘萬兩にして、何れも新記録を示し、又金の入超額は一昨年の四割強に過ぎざるも、銀の入超額は從來のレコードたる一昨年の五千三百餘萬兩を超過する事三千九百五十一萬三千六百八十九兩にして、一昨年の十七割強に増加し其大部分は米國より輸入されてゐる大體戰時中と稱すべき一九一四年より一九一七年に至る四年間に於ける支那銀貿易は出超を以て終始し此四箇年間の出超額は合計八千六百六十六萬六千四百八十七兩に上りたるも、休戰の年たる一九一八年及其翌一九一九年の兩年間の入超額は七千六百六十二萬二百十六兩に上り上記四年間の出超と相殺すれば差引殆ど零となる勘定である。

金銀入超の原因上記十年間を通計すれば、金は合計二千四十八萬六千八百九十三兩銀は合計一億八千八百一十一萬五千七百廿五兩の各入超を示してゐる。金は支那に於て貨幣としての職能を有せざるに拘らず、近年斯くの如く輸出數量の増加を來せるは銀價の異常なる暴騰が人民一般を――下層階級までも刺戟して、彼等の有するあらゆる銀を金に換へ殊に裝身用金製品を求めたからである。更に銀輸入増加の理由は種種あるも、就中適當なる兌換準備を有せず、又貿易上の必要をも顧慮せずして兌換券の濫發されたる結果、兌換券の信用益々地に墜ちたる事、生活標準向上の爲、支那全國に亙つて、生計費の増加せる事、政治的不安の自然の結果として諸地方支那人間に銀錠貯藏の風を馴致せる事等を以て銀輸入増加の主要理由を成するものである。



銀價と爲替の關係 銀本位國たる支那の對外爲替が銀の騰落によつて一昂一低すべきは智者を俟たずとも明かである。昨年の銀塊相場の騰落を顧みるに昨春の銀塊相場は紐育の一弗三十中仙半、倫敦七十五片八分の七を以て始まり、兌換券の益不信を加ふると共に支那筋の買物愈増加して、二月十一日には八十九片半と空前の高値に躍進せるは、今尙世人の記憶に新なる所である。然るに其後支那需要の停頓と、歐洲筋殊に獨逸筋の賣物續出して反落を續け、五月二十日には米國ビットマン條例の定めたる一オンス一弗の相場に相等しき五十八片半に崩落した。而してビットマン條例は米國產銀の買上にのみ適用さるるに止まるも、結局銀價の回復を來し、少くとも銀價の低落を阻止すべしとは一般の觀測なりしも、事實はこれに反して銀價は依然低落步調を辿つた唯七月初旬印度筋の買物現はれ、英米クロスレートの低落、大陸筋の賣物杜絶等の爲小康的回復を呈し八月二十三日には六十三片四分の三と迄回復した。然るに其後再び反落して十二月十日には昨年中の最安値三十八片八分の七を示現し四十片八分の七迄反撥して昨年を終つた。而して此銀價の騰落は直に支那對外爲替相場に反映して其騰貴を招致してゐる。今左に昨年中上海に於ける支那爲替日本向電信賣相場月別最高低表を作つて其實例を示す事としよう。

|     | 高 値    | 安 値    |
|-----|--------|--------|
| 一 月 | 三三兩八分五 | 三一兩四分一 |
| 二 月 | 三三兩四分三 | 三一兩四分一 |
| 三 月 | 三五兩    | 三一兩    |
| 四 月 | 四〇兩    | 三二兩四分一 |
| 五 月 | 四七兩    | 四一兩四分一 |

|      |        |        |
|------|--------|--------|
| 六 月  | 五八兩四分一 | 四六兩二分一 |
| 七 月  | 五二兩二分一 | 四八兩二分一 |
| 八 月  | 四九兩二分一 | 四五兩    |
| 九 月  | 四九兩二分一 | 四八兩    |
| 十 月  | 五六兩二分一 | 四九兩二分一 |
| 十一 月 | 六三兩    | 五四兩四分三 |
| 十二 月 | 七二兩二分一 | 六四兩    |

△列國と支那 支那が貿易的潛勢力を如何に豊富に有するかは、既述對外貿易額の増加が之を證明してゐる。海關年報（フオレン・トレド・オブ・チャイナ一九二〇年）は大要次の如き事を云つてゐる

支那の將來は多くの光明に輝いてゐる。殆ど手をつけられてゐない廣大な富源、茫然たる人口、激務に堪へ且つ勤勉世界無比なる住民は支那將來の光明を物語る。既に住民の外貨使用數量はドシ／＼増加しつゝある。外國式工場は各適當地に簇出しつゝある。一九二〇年末外國式商品を製産して、海關の特殊恩典に浴しつゝありし工場數は四百を超ゆ。其中四十八は石鹼工場、三十一は蠟燭工場、二十九は紡績、二十六は製粉工場、二十五は棉靴下工場、二十四は綿布工場、十七は製紙工場、十五は煙草工場、十は石筆工場、七はビスケット工場にして其他家庭用及び日用品を製造するあらゆる種類の工場がある。

注目し値する進歩の跡はまだ／＼澤山ある。例へば南京大學の養蠶科設置、山東絲の改善を圖る芝罘國際委員會、上海廣東の國際蠶業改善委員會又支那の輸出向主要生産品運輸の改善及び道路の修築に就て地方當局の注意運輸機關として自動艇、自動車等利用の如き其例である。又造船業の如き將來有望にして遠



からず石炭業、鐵鋼業と共に支那の一大資源たるに至るであらう。鐵道敷設も順次行はるべく、河川港灣の監督また怠りなく、燈明臺を始め航海の便宜増進にもつとめ、一方外國流の教育も進み、歐米留學生の數は年を逐うて増加しつつある。其他進歩發展の例證は幾何でもある。

と以て其將來を察知するに足るであらう。唯現在の政治的不安と國內の不統一は支那經濟發達の暗礁で、其不安の除去せられ國內の統一せられざる限り大なる期待を屬し難きは勿論の事である。

強敵は何國か 對支貿易上に於ける列國の地位を論する折に述べた如く、對支貿易上に於ける本邦の強敵は何と云つても英、米、獨に指を屈せねばならぬ。英國は久しきに亙る經驗とジャードン・マセソン。バタフィールド・エンド・スワイヤー。ドッドウエル。アーノルド・ブラザース。フインドレイ・リチャードソン。ハリソン・キング・エンド・アーウィン杯と云ふ資本、信用、經驗を兼ね備ふる大會社が、凡ゆる方面に手を延ばして、其の堅實なる遣り口と共に他國の到底追従を許さざる武器を有つてゐる。米國の會社は經驗信用に於て英國のそれに及ばざるも教會學校等の裏面に勢力を占め居るのみならず、地理上米國は太平洋を隔て、支那に對し、桑港上海間(橫濱經由)の距離は李浦上海間の一萬二千哩に對して、僅に四千五百哩に過ぎずして、上記米支間の距離は英支間の距離の僅々三分の一許りに過ぎない。而して米支貿易額が開戦以來堅實なる増加を示し來れるは其雄大なる商船隊の舉措と共に邦人の注意せざるべからざる所であらう。更に獨逸の對支貿易復活は何うであるか？獨支條約の締結と云ひ、獨商館の復興と云ひ對支貿易額の増加と云ひ獨人の

對支商權恢復に對する努力は非常なものである。従つて獨逸の對支發展は或は意外に迅速ではあるまいか、兎に角興味ある問題たるを失はない。斯く列強對支發展の鋒銳が鋭くなれば鋭くなる程、日本の立場は益困難になつて來る、本邦官民に果して之に對應すべき用意と東亞に於ける特殊地位の維持擁護に對する十分の自信ありや。敢て七千萬同胞の三省を促したい。

## 貿易

### 青島貿易概況 (七月)

本月中の埠頭陸揚貨物(輸入)は三萬一千七百六十九噸一船積(輸出)六萬三千五百五十一噸外に船用炭八千七百八十噸を算し輸入は前月に比し三百餘噸の増加を見せたるも輸出は一萬二千四百四十七噸の減退を現はし尙之を去年同期に比すれば輸出は大差なき狀態に在るも輸入に於て一萬百二噸七の増加を見たり其主なるものは砂糖、洋雜貨、支那紙、機械、木材等の増加を數ふるも其他全般に亙り著しき進展を示せるを見る

|      | 六月中   | 七月中   | 昨年<br>七月<br>中 | 本年<br>比較 |
|------|-------|-------|---------------|----------|
| 陸揚貨物 | 三、四三〇 | 三、六九二 | 三、六六四         | △二〇〇七    |
| 船積貨物 | 五、九八八 | 五、五二四 | 五、五三八         | △ 六七六    |
| 同船用炭 | 六、五八〇 | 八、七六〇 | 三、九七〇         | △ 四、七九〇  |

次に輸出貨物の仕向地に就て見るに日本仕向貨は八幡行鐵鑛德山行淄川粉炭、若松及各港行原鹽の激減を除けば他は大體好況を示し大阪は鶏卵、博山炭、桐材を主として計四千二百六十噸八を算し神戸は花生實、鶏卵、鹽、桐材等により三千七百二十噸の輸出を見横濱は鹽三千二百三十八噸、コークス二千七十八噸

其他を合せて六千三百六十六噸四門司は牛肉、鶏卵、鹽、石炭花生粕、桐材等により三千六十五噸七の輸出を見たり其他特種貨物の仕向ありたるは七尾へ礦石二千二百噸宇品へ鶏卵八百七十一噸中關へ鹽二千百噸等に過ぎず朝鮮方面は釜山行原鹽千五百噸を積出したる外仁川行僅かに合計四百二十五噸七を數ふるのみにして大連亦麥酒、葉煙草、羊毛、コークス、燐寸等により漸く千八百二十七噸四を維持せるが上海輸出は益々著しき進展を示し花生實千百十九噸果實四百五十六噸葉煙草四千八百二十四噸石炭八千五百二十五噸等を主なる貨物として合計一萬五千九百八十二噸の積出しを見香港も鹽三千二百噸石炭千五百三噸其他を合せて四千九百九十四噸の輸出を算せり、輸入貨は特記すべき現象を認めざるも日本方面の不振に引替へ上海、香港、並に其他支那港は益優勢を示し上海よりは茶六百二十噸砂糖百九十三噸卷煙草四百五十七噸染塗料三百四十七噸綿糸千四百四十五噸綿布五百七十噸棉花六百九十九噸其他を合して八千三噸二の輸入を呼び香港は白、赤砂糖二千三百四十八噸麻袋三百七十五噸鐵四百七十一噸其他合計三千七百四十七噸五を算し其他海洲より礦石二千三十五噸安東縣より木材四千二百噸の輸入ありて相當活況を呈せしが外國方面はポートランドより木材千六百四噸の輸入ありしのみ其他は云ふに足らず

大正十年七月

大正九年七月

| 大     | 神     | 門     | 横    | 德    | 若     |
|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 阪     | 戸     | 司     | 濱    | 山    | 松     |
| 船積    | 船積    | 船積    | 船積   | 船積   | 船積    |
| 陸揚    | 陸揚    | 陸揚    | 陸揚   | 陸揚   | 陸揚    |
| 二七三〇七 | 二〇三三五 | 二八四三二 | 五六   | 八二〇  | 一〇〇〇〇 |
| 二四九八  | 二二〇七  | 一五〇三八 | 一六二二 | 二六〇〇 | 一〇〇〇〇 |
| 一九五〇  | 二二二七  | 九五三八  | 二四四  | 一    | 一     |

|       |       |       |        |   |
|-------|-------|-------|--------|---|
| 八     | 五、〇〇〇 | 一、六三六 | 一七、三五〇 | 一 |
| 其他日本  | 九、二七九 | 一、五九二 | 二五、九二  | 一 |
| 仁川    | 四、五七  | 三、四九  | 七、七六   | 一 |
| 釜山    | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇 | 一、〇〇〇  | 一 |
| 大連    | 一、八七四 | 一、三九五 | 一、五二〇  | 一 |
| 上海    | 一、五九八 | 八、〇〇三 | 九、五八七  | 一 |
| 芝罘    | 五、七   | 一、八二  | 七、四六三  | 一 |
| 天津    | 五、三〇  | 一、七四  | 一、七二   | 一 |
| 其他支那港 | 九、八五〇 | 六、三三〇 | 二、七三八  | 一 |
| 香港    | 四、九四六 | 三、七四五 | 一、五八   | 一 |
| 浦鹽    | 八、〇四  | 一     | 二、五〇四  | 一 |
| マニラ   | 一     | 一     | 三、七六   | 一 |
| 其他外國  | 二、九二八 | 一、六八六 | 一、三七八  | 一 |
| 計     | 六、三五二 | 三、七九二 | 六、三八八  | 一 |
|       |       |       | 二、六六四  | 一 |

### 主要輸出入貨物情勢 (七月)

△輸入貨物 輸入の大宗たる綿糸は内地、上海市場の好化と共に當地市況も稍活氣を呈せしが後半月は稀有の雨天續きに需要起らず本月中一萬三千五百三十三擔の輸入を呼びしが日本糸の不振に引替へ上海糸は其六十%を占め八千七百七十四擔の輸入を見たり、紙卷煙草も亦此例に漏れず日本品並に外國品は前年の十五分の一にも達せざる慘狀を呈せるに反し支那品は漸次販路を擴張し前年に比し二百九十七擔の増加を示すに至りたるも雨天續きの爲本品の如きは其影響を受けて伸力を殺がれたるものゝ如し、燐寸は當地市況不振軟弱なるに引替へ大連方面の荷動き旺盛なりし爲内地相場昂騰當地と逆鞘の現象を呈し輸入不可能の狀態となり僅かに二萬六千五百哥の輸入を見たるに過ぎず砂糖、麻袋は前年同期に比し激増を示せるも市況餘りに振はず

殊に砂糖は日本市場と逆鞘なりし爲め主として香港糖の活況を誘致せるが如し、米は支那米の品質下向と產地積出し困難とは益々鮮米に有利の因を爲し遂に支那米を凌駕して本月中四千七百二十九擔の輸入を示せしが支那米は香港より千八百四十九擔上海より百五十四擔を移入せしに過ぎず

△輸出貨物 輸出の大宗たる落花生仁は前年出廻期に於て振はざりし爲め時期外れの今日漸く歐洲方面の買氣を呼び輸出の盛況を迎ふるに至り本月は六萬四千三百三十八噸の輸出を見しが時期の關係により品質の下向は漸次同方面の輸出を困難ならしめ前月に比し約半數に減じ今後亦甚だ見込薄き情態にて產地品薄出廻り噸に減少せり、落花生油、花生仁と同様の狀態を辿り居れども時期の關係上剝實の漸次輸送不可能となるに伴れ需要は油に轉稼せらるゝ模様なる一方に於て廣東方面の需要も兩廣戰爭、並に油房同盟罷業等により剝實を買ふも搾油意の如くならず却て油を需要するの傾向あり市況益展開好望を豫期せらる牛肉、鶏卵の本邦輸出は時候の關係上漸次其數量を減じ本月は何れも前月の半數に満たざるの狀態に在れども昨年同期に比すれば數倍の盛況を示せるは同品に對する本邦需要の盛況を語るものにして暖氣を遠かるに從ひ漸次復活せらるべきは明なり、石炭は八幡並に徳山送り淄川炭の激減により前月に比し六千餘噸を減せるも上海輸出は益好況を呈し本月中淄博兩炭を併せて八千五百二十五噸の輸出を見たり、麥酒は時期の關係上輸出の盛況を見しが、鹽は政府納鹽の一段落と共に減退し工業鹽、並釜山、香港仕向を併せて二十七萬八千餘擔の輸出を爲せしに過ぎず、葉煙は漸次新葉出廻期の接近と共に舊葉の處分を急ぎ本月中三萬三千九百三十擔の積出しを見、桐材は内地相場軟弱當

地強調に氣勢を挫かれて稍出澁り下駄臺九太を併せて七萬七千八百四十二兩の輸出を見たるも前月の半數に達せず

△輸入品

| 品名      | 單位 | 六月中    | 七月中    | 昨年七月   | 昨年七月比較   |
|---------|----|--------|--------|--------|----------|
| 生金      | 正  | 二五四四   | 一七八四   | 六七五    | △ 二〇六    |
| シーチング米品 | 同  | 二六〇    | 一五四〇   | 四〇〇    | △ 一四〇    |
| 同 英品    | 同  | 三、五〇   | 一、八〇   | 九〇     | △ 八六     |
| 同 日本品   | 同  | 二、六六〇  | 八二〇    | 二、一六〇  | △ 三、九六〇  |
| 晒金      | 同  | 二、九六   | 五三七    | 二〇二    | △ 三、二八   |
| 天竺布三十二吋 | 同  | 一〇三三   | 一四四九   | 二八〇    | △ 二、六〇九  |
| 同 日本品   | 同  | 五、四四〇  | 三、九〇   | 二〇九四〇  | △ 一七、四四〇 |
| 綆       | 同  | 八、一五   | 五、〇〇   | 四〇五    | △ 四、五九五  |
| 緋金市綿天竺布 | 同  | 五、五三六  | 一、八四〇  | 一、三八〇  | △ 四、六〇   |
| 綿絲印度品   | 同  | 二六     | 五七     | 三      | △ 五三四    |
| 同 日本品   | 同  | 七、〇一   | 四七九    | 五七六    | △ 九六     |
| 麻 袋     | 同  | 二、一六四  | 八〇五七   | 三九一六   | △ 四、四二   |
| 紙卷煙草    | 同  | 一、六六   | 二、一〇   | 三七五    | △ 二、六三   |
| 同 日本品   | 同  | 一〇〇    | 元      | 一、六九   | △ 一、六九   |
| 電氣材料    | 同  | 一、五四〇  | 二、〇〇   | 三、二八   | △ 二、九八   |
| 燐寸黃燐    | 同  | 八四、一五  | 二、六五〇  | 一、八四六  | △ 九、九六   |
| 疊 莫座    | 同  | 一、五五二  | 二、八九八  | 一、五〇〇  | △ 二、七四八  |
| 石油      | 同  | 四〇〇、五三 | 一、一九七六 | 一、一九七六 | △ 一、一九七六 |
| 同 スマトラ裸 | 同  | 一、一九七六 | 一、一九七六 | 一、一九七六 | △ 一、一九七六 |
| 同 箱入    | 同  | 四、五八   | 一〇、〇〇  | 九三三    | △ 五、六四五  |
| 米       | 同  | 四、五八   | 六、五八   | 九三三    | △ 一、九六六  |
| 砂糖      | 同  | 一、五〇一  | 二、三二   | 三、五七七  | △ 一、九六六  |
| 同 赤     | 同  | 六、三三七  | 三、三九   | 一      | △ 三、二九   |
| 同 白     | 同  | 一、四四八  | 一、七八四  | 二、四二五  | △ 一、六三九  |
| 同 精製    | 同  | 一、四四八  | 一、七八四  | 二、四二五  | △ 一、六三九  |
| 木材      | 同  | 六、八三九  | 一、七八四  | 五、四九六  | △ 九、九六   |
| 同 軟     | 同  | 六、八三九  | 一、七八四  | 五、四九六  | △ 九、九六   |
| 同 立方呎   | 同  | 六、八三九  | 一、七八四  | 五、四九六  | △ 九、九六   |
| 同 立方呎   | 同  | 六、八三九  | 一、七八四  | 五、四九六  | △ 九、九六   |





|     |    |       |       |     |   |        |       |
|-----|----|-------|-------|-----|---|--------|-------|
| 花生仁 | 同、 | 一三〇、六 | 一〇    | 各種席 | 枚 | 一、二五〇  | 一、六〇〇 |
| 花生油 | 同  | 一、八五五 | 一、八四〇 | 鹽   |   | 二、五八七五 | 二、四六六 |
| 鮮菜  | 同  | 四、六三三 | 四、六三三 | 擔   |   |        |       |

## 海運及鐵道

### 青島港出入船舶 (七月中)

本月中の入港船舶(汽船)は九十三隻此登簿噸數十一萬八千三百二噸出港九十六隻十一萬一千四百四十三噸にして卸荷三萬一千七百六十九噸一積荷六萬三千五百五十一噸四を算せり之を前月に比するに出入共隻數に於て四、五隻の減少を示せるも噸數に於ては何れも五、六千噸の増加を示し尙昨年同期に比較すれば入港十一隻二萬五千餘噸出港十三隻二萬二千餘噸の増加を現はせり

| 入港汽船   |     |         | 出港汽船 |         |      |
|--------|-----|---------|------|---------|------|
|        | 隻數  | 登簿噸數    |      | 隻數      | 登簿噸數 |
| 六 月 中  | 九九  | 一〇四、三八六 | 一〇〇  | 一〇六、二五三 |      |
| 七 月 中  | 九三  | 一一〇、八三二 | 九六   | 一一一、四四三 |      |
| 昨年七月   | 八二  | 八五、七〇九  | 八三   | 八八、七二五  |      |
| 昨年との比較 | 〇一一 | 〇二五、一二三 | 〇一三  | 〇二二、七二八 |      |

〇ハ 増

次に入港船舶の仕向地を見るに日本二十四隻基隆一隻大連十一隻上海三十三隻芝罘五隻其他支那港十三隻香港六隻にして出港仕向地は日本二十七隻仁川三隻大連十三隻上海二十八隻芝罘一隻天津三隻其他支那港十七隻香港三隻其他外國一隻にして上海香港其他支那港就航船舶の激増を見たり

### 本邦備船運賃近況

一時恢復を豫想されたる海運界も依然一進一退の姿にして特種荷物の外は出荷極めて不況にして繋留續出の状態なりしが最近に至り繋船中と雖ども相當の費用を要し且つ營業繼續上不利益なるより多少の損失を見越し社外船の如きは極めて低率なる運賃にて荷物の奪合に腐心し邦船同志の航路競争顯著となり來りたるか既に大阪商船が甲谷陀に東洋汽船が基隆に客船の延長を爲し山下汽船が郵商、原因の青島航路に割込みを見近く貨物の奪合も起るならんと豫想せられ居れり運賃市況は一體鈍狀を免かれざるも引續き成約あり唐濱運炭一圓八九十錢に停滯北海木材は強含みにして樺太内地百六十圓見當にて成約あり太沽枕木は二十一二錢見當迄下押せり、備船界は過般來山下汽船が近海船數隻を漁りて聊か慨眠を破りしか過般南海丸(七八五〇)明海丸(五〇五〇)の二隻を直渡二ヶ月乃至半年印度航路二回見當にて備船せるを以て一段落を告げたる模様にして一部小型船を除き大型船は依然伸腦みの姿を呈せり

### 青島發着主要鐵道貨物情勢 (八月)

本月中の青島、大港、埠頭三驛發著貨物を見るに發送一萬二百八噸一到著一萬一千九百七十九噸四にして之を前月に比すれば發送貨は僅かに二千九百七十八噸一の減退を示せるに過ぎざるも到著貨物は一萬二千二十一噸一の激減を來して其半數以下に陥り更に之を昨年同期に比するも發送七千六百二十一噸到著三千五百七十七噸の減退を現はせるは單に夏枯期のみの影響に非ず本月初水害の爲殆んど全滅の災を蒙りたる博山炭坑の多數は復舊至難にして一日出炭八百噸に充たざる程激減を見るに至りたる一方是迄歐洲方面の注文を受けて活況を呈せし花生仁

花生油が受渡に際し虫付或は酸問題を發生せる爲取引一時中絶し出荷の激減を來らせる等は確かに其原因を爲せるものなり更に之を各貨の上に就て小言すれば鶏卵、牛肉は夏期輸出不振の關係上著しく減退し桐材も阪地市況の不味を入れて當地も相場高に買控へ從て出荷の減退を招けり石炭、花生仁、花生油は前述の如く支那米は品質下向による需要薄に涉々しき入荷を見ざりき、發送貨物は奥地稀有の水害に買氣を挫き需要更らに起らず先づ綿糸、綿布の半減を見たる外砂糖、煙草、雜貨等も同一事情の下に減退し油粕は施肥期を經過して僅かに七十六噸七の發送を示せしに過ぎずされど昨年不況時代の夏枯期に比すれば幾分の好化を見小麥、葉煙草、生牛、石炭等特種の事情により減退を示せるものを除けば何れも相當の成績を示せるも近年稀有の水害と奥地土匪の横行とは人心に不安を與へ一は購買力を減じ一は發送上の障害を生み左表の如く發著貨物の上に影響を來せるを見る本月中發著主要貨物を前月並に昨年同期に比較すれば左の如し(單位噸)

| 品名  | 發送貨物  |       | 到著貨物   |        | 同生牛   |       |
|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
|     | 七月中   | 八月中   | 七月中    | 八月中    | 七月中   | 八月中   |
| 石油  | 七九元   | 七三三   | 一三、六八三 | 一〇、一〇六 | 二、四〇〇 | 一、九七九 |
| 木材  | 八六五   | 一、四四〇 | 一、五七二  | 一、五七二  | 二、四〇〇 | 一、九七九 |
| 小麥  | 二九四三  | 五、四八四 | 六、八七五  | 二、八八五  | 二、四〇〇 | 一、九七九 |
| 支那紙 | 三、四九三 | 一、五三六 | 二、八八五  | 二、八八五  | 二、四〇〇 | 一、九七九 |
| 棉花  | 五、七五九 | 五、五九三 | 二、五五五  | 二、五五五  | 二、四〇〇 | 一、九七九 |
| 綿布  | 三、六八三 | 一、五七九 | 三、五九四  | 三、五九四  | 二、四〇〇 | 一、九七九 |

| △到著貨物 |       | 線糸    |      | 油粕      |       | 砂糖     |       | 食料品   |       | 煙草    |       | 魚類    |       | 雜貨    |       | 蔴袋布袋  |       | 機械    |       |
|-------|-------|-------|------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 二、三三〇 | 六六七   | 四、五〇一 | 七六七  | 二、四八五、三 | 九六五、二 | 三、六二〇  | 三、六四四 | 三、三三〇 | 八五三   | 四、八二四 | 二、五二〇 | 一、〇九八 | 八七六、三 | 二、七九三 | 三、〇八六 | 二、七四  | 一、六二二 | 三、七六〇 | 四、六〇七 |
| 二、五三六 | 九、九六三 | 二、六四  | 九、三一 | 四、三八六   | 五、三六  | 三、〇九、二 | 五、五   | 一、七、一 | 二、五、一 | 五、二二  | 一、九八八 | 六、四七八 | 二、九七五 | 二、九四〇 | 一、三三八 | 四、六七〇 |       |       |       |

埠頭營業倉庫業況 (七月)

本月の受寄貨物は花生實千十八噸二葉煙草二百二噸一花生油百五十二噸三綿糸二十三噸四綿布二十六噸磅寸百八十三噸九穀百

| △到著貨物 |       | 線糸    |       | 油粕    |       | 砂糖    |       | 食料品   |       | 煙草    |       | 魚類    |       | 雜貨    |       | 蔴袋布袋  |       | 機織    |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |
| 石炭    | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 | 九、九六〇 | 二、八四〇 |

九十五噸四此價格二十七萬四千六百二元五十一錢にして出庫は花生實、葉煙草、機械類、其他を併せて千八百八十五噸七此價格二十六萬三千九百四十八元三十一錢を算し月末在庫千八百九十七噸三價格三十一萬七千四百七十七元六十錢を示せり今各品種別異動數量を示せば左の如し

|      | 繰越    | 受寄    | 出庫    | 月末現在  |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 花生實  | 一九七   | 一〇、二二 | 五五九六  | 六九三   |
| 葉煙草  | 八二八   | 三〇、二  | 八八九   | 二五〇   |
| 牛皮   | 二〇八   | —     | —     | 二〇八   |
| 機械油  | 二〇四   | —     | 〇九    | 一〇五   |
| 花生油  | —     | 一五、三  | —     | 一五、三  |
| 染料   | 四〇    | —     | —     | 四〇    |
| 綿糸   | —     | 三、四   | 一五    | 二九    |
| 綿布   | 二、三   | —     | 二八    | 二四、五  |
| 麻袋   | 三、四   | —     | 三、四   | —     |
| 煉瓦及瓦 | 二、三   | —     | —     | 二、三   |
| 土器   | 一、四   | —     | —     | 一、四   |
| 鐵    | 二、六   | —     | —     | 二、六   |
| 金屬製品 | 三、四   | —     | —     | 三、九   |
| 機械   | 二〇八   | —     | —     | 二〇八   |
| 燐寸   | 四、〇   | —     | —     | 三、〇   |
| 屋根紙  | 三、八   | —     | —     | 三、八   |
| 食料品  | 一〇、四  | —     | —     | 一〇、〇  |
| 肥料   | 一〇、八  | —     | —     | 一〇、三  |
| 計    | 一、八二七 | 一、八二二 | 一、八二七 | 一、八二二 |

商

況

◎綿糸布

△綿糸 夏枯閑散を迎へて本月は稀有の被害に益々氣を腐らせ實需更らに起らず月末に至り阪地三品も米棉の連騰に刺戟せられ漸次手堅き成行を呈し上海市場亦好況を告げしが當地は遂に局面轉回の運に至らず只問屋筋の投機賣買のみ旺んにして之れが建玉たる二十手福島如き一時意外の高値を呼び市場幾分の活氣を呈せし如き觀ありしも實需振はず僅かに小口商内行はれたるに過ぎず

商標

|          |       |        |       |
|----------|-------|--------|-------|
| 銀月 (十六手) | 五日    | 十五日    | 廿五日   |
| 扇面 (十六手) | 一五、二兩 | 一五、四、五 | 一五、六、 |
| 福島 (二十手) | 一五、四、 | 一五、八、  | 一五、九、 |
|          | 一八、〇、 | 一八、二、五 | 一八、六、 |

△綿布 奥地筋の被害並に酷暑等の爲め奥地客の來青無く爲めに本月を通じて商館筋の賣上數量僅かに百俵に充たざる有様に見るも如何に市況の不振閑散なりしかを推知するを得べし

商標

|            |      |      |      |
|------------|------|------|------|
| 九龍粗布       | 一日   | 十五日  | 廿五日  |
| 顏ジンス (四十碼) | 五兩七五 | 五、七〇 | 五、七〇 |
|            | 六、八〇 | 六、八〇 | 六、七五 |

◎砂糖

月始頃外國原糖強氣入報に刺戟せられたると日本内地需要期節に入りたる爲め相場は前半月中デリ高步調を辿りてEK庫渡月始十五元八十錢より中旬十六元四十錢と上押せるが其に伴れ當地手持筋は持荷を小口ながら片端より處分せる爲め在庫品も漸次減少し尙中秋引當商内として相當の買氣を示せり然るに下旬に入りてより水害及土匪の横行等弱氣材料の續發に遇ひ華商筋は一齊に手を收めて形勢觀望の態度に出て買氣を見せざりしかば市中在荷相當品薄を告げ居るに拘らず相場EK十六元と下押



無商内の狀態に推移せりされば中秋明後は品薄と共に相當の買氣を示すべく豫想せらるゝも其以前に於ては大した市況の好化は望み難かるべしと觀測せらる

### ◎ 燐 寸

濟南市況は引續き無商内の狀態を繼續し居りしか奥地方面の天候恢復と共に遽かに活氣を呈し奥地客筋一齊に買向ひ來りし爲豫想以上の品薄を告げ當地より濟南向積送せる在庫品は下旬頃迄に悉く處分せられたる後尙相當の買氣を示せり青島に於ても亦同一の狀態にして多少の買氣を誘ひしが一方當地製品にして市場開拓在庫品處分の意味の下に大連方面へ積出せられたるものあり荷物は相當に動きつゝあるにも拘らず製造家筋は各自家持荷の處分にのみ腐心し賣競ひたる爲め相場は漸落步調を辿り上旬保牌安平入四十元五十錢より月末三十九元五十錢見當に落込み更に一段の下押を見るべき趨勢を示せり日本物は最近黃燐の生産減少せる處へ青島相場軟弱の爲め製造家は寧ろ大連方面に輸出するを利益とし主として同地方に仕向けられたる有様なれば當地市況全然振はず本月中日本輸入貨皆無の姿に在り

### ◎ 白 米

鮮米は日本内地相場の昂騰に伴れ漸次強調を呈し來りたるを見產地手持筋は容易に安値手放さず從て當地市況も高唱へとなり中旬研一等石三十八圓無砂三十六圓と持上げ著しく高値を現はせしか支那米上米薄に賣行益旺盛を示し居れり、支那米は本月に入りてより益々上米拂底を告げ相場の漸騰を促し粗米も均しく中秋節前支那人向需要の旺盛を迎へて遽かに五六十錢見當の昂騰を現はせしが月末需要の一段落と共に漸落並米も落付風情

を示せり上米は愈品拂底市中在荷稀薄に依然強含みの商狀を辿れり月末相場左の如し

|      |         |         |         |           |
|------|---------|---------|---------|-----------|
| 關禮米  | 上 一七、六〇 | 中 一七、二〇 | 下 一六、八〇 |           |
| 上海米  | 同 一六、九〇 | 同 一五、五〇 | 同 一四、七〇 | 一袋百五十斤入銀建 |
| 香港粗米 | 同 一、三〇  | 同 一〇、八〇 | 同 一〇、三〇 |           |
| 鮮 米  | 研 三八、〇〇 | 無研三六、一〇 |         | 一石金建      |

### ◎ 花 生 實

生米は既に時期を經過し品出廻り減切減少せるのみならず一時歐洲方面の買氣旺盛に伴れ良品は殆んど出盡したる爲品質漸次低下し遂に取引所に於ける生米受渡に際し出付問題を惹起するに至り幸に十五錢の値引を以て解決を見たるも之が爲定期は八月十五日限を最後として場建たす各輸出商も漸く剝實より手を引きたる模様にして安値六元二十錢迄落込みしが月末に近く廣東幫の名義を以て外商の一部より安値に向ひ買進み品質を問はず現物全部を引渡への積りにて買集めたるを以て自然相場を吊上げ七元二十錢迄上押せるも品薄の爲め思ふ程の買物も出來ざりし模様にて格別の大相場出でず月を終れり

### ◎ 花 生 油

一時旺盛なる需要を喚起せし歐洲市況も前月末頃より漸次買氣薄となり從て當市場も大した場面の變化を期待せられざりしが一部思惑筋は現品薄に乗じ賣手を品攻めに爲さんと九月限に向ひ極力買占めに出でたるを以て遽かに活氣付きたる一方賣手は七八月限の定期を持ちたるものを纏めて九月限を賣繼きたる爲め喰合せは可なりの大巾となり相場も十五元六十五錢迄跳上りしが何等強氣材料の出現せるに非ず、月末に近く歐洲相場も幾



分見直したる模様なるも本月十七日より歐航一割五分見當の運賃値上を見たるを以て月始頃の低値を再現するに非ざれば出合はざるべしと觀測せらる

### ◎麥稈眞田

最近獨佛方面よりの引合切りに入込み相場は割合に底固き狀況を示しつゝあるも荷物出廻り相變らず潤澤ならざる爲め市況硬調更に一段の更進を見んとする勢を示し相場も浮邱物四十六兩より月末五十兩迄躍進先行駈り模様にて閏月せり取扱高の最も多かりしは東華公司(支那人)にして其他怡和、三井、吉澤等あるも其數量極めて少なし

### ◎石炭

本月七日夜半來の豪雨は博山、淄川の各炭坑地域は勿論各地の被害甚大にして孝婦河の鐵橋墜落、線路の破損等により送炭に甚だしき支障を來したるのみならず其坑内に及ぼせる被害は時日の経過と共に漸次慘害を逞ふせるものゝ如く排水設備の完備せる淄川炭坑に於ては旬日ならずして復舊を見しと雖ども姑息小規模なる博山炭田雞小炭坑に於ては水没亦立つ能わざるものを續出すると共に從來相當の排水設備を有するものも目下稼行採炭を繼續せるもの寥々指を屈する程にして其他は悉く排水復舊に見たるもの現時僅かに三百餘噸に過ぎず而も博山驛構内に於ける貯炭は多く水害の爲め流失せるを以て在荷の稀薄は忽ち炭價の暴騰を呼び牽て淄川及坊子、章邱各炭の地元消化を促進すべく豫期せられつゝあり、輸出淄川炭は月始日本炭況の硬化

と共に山東炭の海外輸出市場益好望視せらるゝに至りたる一方供給に豫猶を生じ聊荷間氣味なりし淄川塊炭は三井、鈴木等の手により年内二萬噸の賣拔に努力中にて既に香港送り一千五百噸の輸出を見しが俄然上海市場開平炭の安賣開始に禍せられ不味裡に經過し博山炭も亦同様の運命を辿り夏枯期に入れり焚料の積取は依然旺盛なりしが前月末來著炭減少の爲非常の逼迫を來せしも中旬後に於ては送炭好調に伴れ潤澤に供給せられたり最も夏枯一般荷動減少期にて土貨積取船の來航一時に比し減少せる爲め多少の減退を來せり、輸入炭は夏期不需要期の事として涉々しき輸入を見ざりしも博山炭況前述の如く出荷激減せる事とて地元需要に充つる爲め多少の入荷を豫期せられ炭價も内地炭價の昂騰に伴れ屯一圓見當の値上げを見たり

### ◎鹽

前月來の雨天續きに鹽田業者は殆んど休業狀態を繼續し收穫激減前途の品薄豫想に市況漸く活氣を呈し之と共に相場はデリ高の步調を辿り益々前途の強調を現はし來りたるは蓋し當然の結果にして中旬末天候恢復と共に鹽田野積物の來著漸次多きを加へ舢船數も十九日には大小港を併せて二百三十四隻千九百十五噸の陸揚鹽を示すに至りたるも尙市中在荷薄に相場は益々強調を呈し一般先高見越買も加はりて月末大港白鹽四元六十錢普四元四十錢小港白鹽四元五十錢普四元三十錢と高値を出し市況頗る緊張を示せり

### ◎生牛

本邦牛肉市況は各地の水害に祟られて暴落を示し並肉百匁二十

八錢見當の投賣物を出せる有様に青島冷蔵肉の如きは二十一錢迄落込み需要の激減を來したるを以て當地生肉界は忽ち其影響を受けて輸出不能に陥り市況全く沈衰せしが央頃奥地水害地方の恢復に伴れ相當生牛出廻りありたるも内地市況前述の如くなるを以て輸出業者は一齊に買控市中商内更に成立せず開治洋行のマニラ輸出も本年契約不能に輸出中止の姿にして一時囑望せられたる大連積出しも期待せられたる程の輸出を見る能はず漸減の傾向を辿り最近僅かに少量の積出を見るに過ぎざれば當地としては内地市況の恢復により相當買氣を示し來る迄は原狀維持の外無かるべしと觀測せらる

### ◎ 鶏 卵

月始頃本邦市況は上海安物の出現に軟弱氣配を示し輸出の不利を誘ひし爲め買氣薄滯貨漸増相場は高密物九元より九元五十錢即墨物九元昌樂物十一元五十錢と安値を現はせしが間もなく安値には出荷も出澁り勝にして在荷の減少と共に相場も稍擡頭し來りたる矢先水害に遭ひて出廻頓に減少せる爲相場に刻々に上騰し中旬大玉十六七元見當迄暴騰買氣益旺盛を示せるにも拘らず依然品出廻思はしからず市況始終強調を繼けつゝ月末大玉十九元半、中玉十八元と近來に無き高値を出せしか内地は上海安物に押されて相場伸腦み輸出は不引合の狀態に推移せりされど引續き天候不良の爲出廻涉々しからずして先行市況天井知らずの勢にて本月を終れり

### ◎ 桐 材

月始頃阪地市況は品薄氣配にて活氣を呈し約一割見當の値上げ

を見當地は之に先走り約二割見當の高値を呼び相當の取引行はれ内地市況も愈駭り氣配に推移せしか之が爲め當地丸太材の著荷も相當の數量を數へ殊に支那人物は數量の上に於て邦人物を凌駕し斯界に一勢力を示し居れり月末相場山東材才十錢五厘より十二錢五厘河南物才十一錢五厘より十三錢五厘を保合へり

### 協 會 錄 事

#### 小笠原丸高等船員慰勞招待會

小笠原丸(海底電線修理船)高等船員並に遞信部主腦招待宴會は豫定の如く昨七日午後六時半衆乃家に於て開催せり當日の來賓及出席會員左の如し

#### △ 來 賓

|           |        |
|-----------|--------|
| 小笠原丸船長    | 蛭子康氏   |
| 同 一等運轉士   | 竹内濟三郎氏 |
| 同 機 關 長   | 全先友太郎氏 |
| 遞 信 技 師   | 星野貞治氏  |
| 民政部遞信部長代理 | 高槻文彌氏  |
| 同 遞信事務官   | 嬉野八郎氏  |
| 同 遞信技師    | 千住永照氏  |

#### △ 出席會員(順序不定)

|          |        |
|----------|--------|
| 青島取引信託會社 | 龍口銀行   |
| 東和公同     | 内外綿會社  |
| 日華協信公司   | 日本棉花會社 |
| 朝鮮銀・行    | 江商會社   |

三井物産會社 橫濱正金銀行  
 鈴木商店 正隆銀行  
 三菱公司 山東興業會社  
 大連汽船會社 日本郵船會社  
 湯淺洋行 山東葉煙草會社  
 東洋鹽業會社 大倉商事會社  
 青島鹽業會社 東洋拓殖會社

主客席定るや佐々木會頭起て左記要旨の挨拶を述べ

佐々木會頭挨拶

今回海底電線故障修理のため特に遠方御來航を見たる小笠原九乘務員各位並に當民政部遞信當局各位のため今夕小宴を催ふしたる處御多用中にも不拘御來駕下されたることは誠に光榮とする次第なり申すまでもなく通信機關特に電信は吾々實業家の殆んど生命とするものなり一日も電信なかりせば吾々は手を下すの方向なく誠に不利不便を招徠する所今日各地との連絡を保ち商機商略を逸せず活動し得らるゝ所以は全く此の電信の賜と信するものなり過般海底線不通の際は甚た遺憾の點多かりしも之に對する臨機應急の處置は當局各位の努力に依て夫々講せられたるも猶ほ願くは當地無線電信の完成を速かならしめ之を活用し得る日の實現せむことを此の機會に於て特に希望する譯なり今夕は粗酒粗肴何等設備とてなきも吾々の微意の存する所を汲まれ御寛談あらむことを乞ひ茲に盃を上げて各位の御健康を祝す云々

佐々木會頭の挨拶に次て蛭子船長は左記要旨を述べられたり

蛭子船長答辭

只今は御鄭重なる御挨拶且つ當地有數の實業家各位より斯の

如き御盛宴を催し下されたることは不肖等の最も欣幸とする所なり海底線の故障に就ては天候其他不可抗力のものにして如何ともし能はざる譯なるが往々にして漁船の爲め妨けらるゝあるは甚だ遺憾に不堪當地内地間の電線は一線にして一朝故障を生したる際は其の復舊甚だ困難なるか之も少くとも青島塔連島間位は二線とし置く必要あるに似たり御説の如く電信が實業家各位至大の關係を有する以上之が改善擴張に就ては各位に於て市民の聲を上げ政府に高唱さるゝこと肝要ならむか、兎も角現在に於ては修理線は甚だ其の數少く辛ふして來年度は一隻の増加を見るも故障の地多く吾々は之が修理に忙殺さるゝ状態に在り上海方面に於ける海底線會社の施設等は大に學ぶ點あり各位に於かれても電線の増設に就ては充分なる御研究御發奮あらむことを希望す青島が如何に處分ざるとも各位の業務を發展せしむるには此の電信の活用が最も重大なる使命を有する以上更に大に御考慮あらむこと然るべしと信す

今回吾々の任務は極めて輕微なるにも不拘特に此の盛宴を設けて御招き下されたることは一同と共に深く感謝する所なり云々

蛭子船長の答詞に引續き高槻遞信部長代理は盃を上げて實業協會員各位の健康を祝する所あり終て餘興に移り歡談笑聲盡さす斯で常に海上勤務に忙しく且つ電信線修理の重命を全ふせられたる小笠原九船員の勞を稿ふに遺憾なき宴會は午後十時に及び散會せり



銀塊並爲替相場 (八月)

| 倫敦先物  | 同 現物  | 米英爲替  | 正金日本向爲替 |
|-------|-------|-------|---------|
| 一 日   | 一 日   | 一 日   | 賣 買     |
| 二 日   | 二 日   | 二 日   | 賣 買     |
| 三 日   | 三 日   | 三 日   | 賣 買     |
| 四 日   | 四 日   | 四 日   | 賣 買     |
| 五 日   | 五 日   | 五 日   | 賣 買     |
| 六 日   | 六 日   | 六 日   | 賣 買     |
| 七 日   | 七 日   | 七 日   | 賣 買     |
| 八 日   | 八 日   | 八 日   | 賣 買     |
| 九 日   | 九 日   | 九 日   | 賣 買     |
| 十 日   | 十 日   | 十 日   | 賣 買     |
| 十一 日  | 十一 日  | 十一 日  | 賣 買     |
| 十二 日  | 十二 日  | 十二 日  | 賣 買     |
| 十三 日  | 十三 日  | 十三 日  | 賣 買     |
| 十四 日  | 十四 日  | 十四 日  | 賣 買     |
| 十五 日  | 十五 日  | 十五 日  | 賣 買     |
| 十六 日  | 十六 日  | 十六 日  | 賣 買     |
| 十七 日  | 十七 日  | 十七 日  | 賣 買     |
| 十八 日  | 十八 日  | 十八 日  | 賣 買     |
| 十九 日  | 十九 日  | 十九 日  | 賣 買     |
| 廿 日   | 廿 日   | 廿 日   | 賣 買     |
| 廿 一 日 | 廿 一 日 | 廿 一 日 | 賣 買     |
| 廿 二 日 | 廿 二 日 | 廿 二 日 | 賣 買     |
| 廿 三 日 | 廿 三 日 | 廿 三 日 | 賣 買     |
| 廿 四 日 | 廿 四 日 | 廿 四 日 | 賣 買     |
| 廿 五 日 | 廿 五 日 | 廿 五 日 | 賣 買     |
| 廿 六 日 | 廿 六 日 | 廿 六 日 | 賣 買     |
| 廿 七 日 | 廿 七 日 | 廿 七 日 | 賣 買     |
| 廿 八 日 | 廿 八 日 | 廿 八 日 | 賣 買     |

法 規

布令第五十六號

埠頭貨物取扱業取締規則左ノ通定ム

大正十年九月六日

青島守備軍司令官 由比 光衛

埠頭貨物取扱業取締規則

第一條 本令ニ於テ埠頭貨物取扱業ト稱スルハ貨主ノ爲ニ自己若ハ其ノ貨主ノ名ヲ以テ大港又ハ小港ニ於ケル貨物ノ輪移出入ノ手續ヲ爲スヲ業トスルヲ謂フ

第二條 埠頭貨物取扱業ヲ爲サムトスル者ハ民政署長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

小港ニ於ケル埠頭貨物取扱業ヲ願出ツル者ハ二名以上ノ保證人ヲ定メ連署スヘシ

第三條 大港ニ於ケル埠頭貨物取扱業ノ許可ヲ受ケタル者ハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ營業保證金トシテ金二千圓ヲ民政署ニ供託スヘシ

前項ノ營業保證金ハ民政署長ノ定ムル種別及價格ニ依リ有價證券ヲ以テ代用スルコトヲ得

第四條 大港ニ於ケル埠頭貨物取扱業者ハ營業保證金ヲ供託シタル後ニ非レハ其ノ業務ヲ行フコトヲ得ス

第五條 埠頭貨物取扱業者ハ其ノ取扱料金ヲ定メ民政署長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ



第六條 埠頭貨物取扱業者ノ保證人ハ埠頭貨物取扱業者ノ業務

上故意又ハ過失ニ因リ損害ヲ受ケタル貨主ニ對シ埠頭貨物取扱業者ト連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第七條 埠頭貨物取扱業者ノ業務上故意又ハ過失ニ因リ損害ヲ受ケタル貨主ハ他ノ債權者ニ先チテ營業保證金ヨリ賠償ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第八條 埠頭貨物取扱業者ハ取扱貨物ニ關シ受取ルヘキ取扱料税金其ノ他貨主ノ爲ニ爲シタル立替金ニ付テノミ其ノ貨物ヲ留置スルコトヲ得

第九條 埠頭貨物取扱業者ハ其ノ業務ニ關スル從業者ヲ定メ民政署長ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十條 前條ノ從業者カ其ノ業務ニ關シテ爲シタル行爲ハ埠頭貨物取扱業者ノ行爲ト看做ス

第十一條 埠頭貨物取扱業者ハ營業上ノ弊害ヲ矯正シ共同ノ利益ヲ増進スル爲組合ヲ設置スルコトヲ得

前項ノ組合ヲ設置セムトスルトキハ定款ヲ作り民政署長ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 民政署長ハ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトアルヘシ

第十三條 埠頭貨物取扱業者ニシテ本令ノ規定ニ違反シ又ハ命令ヲ遵守セサルトキ若ハ公益上必要アリト認メタルトキハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十四條 許可ヲ受ケスシテ埠頭貨物取扱業者ヲ爲シタル者、第十四條ニ違反シタル者又ハ第五條ノ認可ヲ受ケス若ハ認可ニ違反シテ取扱料金ヲ取得シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第三條ノ營業保證金ハ民政署長ノ許可ヲ受ケ一定ノ期間其ノ供託ヲ延期スルコトヲ得  
本令施行ノ際現ニ埠頭貨物取扱業者ヲ爲ス者ハ本令施行後三十日以内ニ本令ニ依リ願出テ許可ヲ受クルニ非サレハ本令施行後三十日以後ニ於テ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス  
樣式(半紙野紙)

埠頭貨物取扱業許可願(大港、小港ハ各別ニ願書ヲ提出スヘシ)

原 籍

現住所

商 號

氏 名

生年月日又ハ年齡

大港(又ハ小港)

一 營業區域

一 營業場所

一 資本金

一 營業開始期

右御許可相成候上ハ埠頭貨物取扱業取締規則ハ固ヨリ法令其ノ他如何ナル御命令ニテモ堅ク遵守可仕別紙履歷書相添ヘ此段奉願候也

年 月 日

右

氏

名 印

(保證人ヲ要スルモノハ左ノ通記載スヘシ)

原 籍



|             |         |             |
|-------------|---------|-------------|
| 日華公論        | 第八卷第八號  | 日華公論社       |
| 上海公論        | 第三卷第七號  | 上海公論社       |
| 埠頭月報        | 大正十年六月  | 青島埠頭事務所     |
| 通商彙報        | 第五四號    | 大坂府立商品陳列所   |
| 東拓月報        | 第一二號    | 東洋拓殖株式會社    |
| 商工時報        | 第八卷第八號  | 內外商工時報社     |
| 調查時報        | 第一三號    | 青島守備軍民政部鐵道部 |
| 青島ノ商況       | 大正十年六月  | 青島守備軍民政部    |
| 京都ノ實業       | 第二卷第三號  | 京都商業會議所     |
| 山東公論        | 第一四一號   | 山東公論社       |
| 東方通信        | 大正十年七月  | 東方通信社       |
| 熊本ノ實業       | 第五六號    | 熊本商業會議所     |
| 工業之日本       | 第一八卷第七號 | 工業之大日本社     |
| 營業報告書       | 第七期     | 大連龍口銀行      |
| 經濟資料        | 第七卷第八號  | 軍亞經濟調查局     |
| 滿蒙實業彙報      | 第七三號    | 大連商業會議所     |
| 日本棉花同業會     | 第二五六號   | 日本棉花同業會     |
| 青島港貿易統計     | 大正十年六月分 | 青島守備軍司令部    |
| 日本棉花同業會旬報   | 第三二五號   | 日本棉花同業會     |
| 岡山商工彙報      | 第一六〇號   | 岡山商工彙報社     |
| 上海貿易統計      | 大正十年三月中 | 上海日本商業會議所   |
| 支那貿易事情觀察報告書 | 第一六號    | 橫濱輸出協會      |
| 渡航人員調查表     | 大正十年七月分 | 青島埠頭事務所     |
| 東洋雜貨新聞      | 第一一五號   | 東洋雜貨新聞社     |
| 旅客輸出統計      | 大正八、九年  | 青島埠頭事務所     |
| 支那棉作事業      | 第一冊     | 東洋拓殖會社      |



出 航 乘 船 之 部

| 區 別 | 男女別   | 大連           | 日本內地     |            |            |          | 朝鮮     | 安東縣       | 芝罘     | 上海        | 吳淞     | 鎮江     | 十二威    | 廣東     | 石臼所      | 海州       | 山東省          | 江蘇省          | 福建省        | 關東州       | 計               |
|-----|-------|--------------|----------|------------|------------|----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|--------------|--------------|------------|-----------|-----------------|
|     |       |              | 大阪       | 神戶         | 門司         | 其他       |        |           |        |           |        |        |        |        |          |          |              |              |            |           |                 |
| 日本  | 人{ 男女 | 352<br>73    | 25<br>14 | 339<br>129 | 504<br>207 | 70<br>26 | 1<br>5 | —         | —      | 91<br>26  | 1<br>— | —      | —      | —      | —        | 2<br>—   | —            | —            | —          | —         | 1,385<br>480    |
|     | 人{ 男女 | 1,295<br>109 | 3<br>—   | —          | 64<br>—    | 9<br>—   | 1<br>— | 454<br>53 | 5<br>— | 274<br>60 | 2<br>— | 1<br>— | 2<br>— | 6<br>2 | 367<br>3 | 169<br>3 | 5,124<br>436 | 3,124<br>328 | 369<br>228 | 132<br>65 | 11,401<br>1,287 |
| 支那  | 人{ 男女 | 2<br>—       | —        | 3<br>—     | —          | —        | —      | —         | 2<br>— | 18<br>32  | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 39<br>20        |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | —               |
| 英國  | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | —               |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | —               |
| 露米獨 | 人{ 男女 | 32<br>32     | —        | 4<br>—     | 1<br>—     | —        | —      | —         | —      | 32<br>33  | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 69<br>65        |
|     | 人{ 男女 | 1<br>1       | 3<br>—   | 2<br>2     | —          | —        | —      | —         | —      | 22<br>16  | —      | —      | —      | —      | 1<br>—   | —        | —            | —            | —          | —         | 29<br>19        |
| 佛丁波 | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 3<br>—    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 3<br>2          |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | —               |
| 和蘭  | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 4<br>1    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 4<br>2          |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | 1<br>—     | —        | —      | —         | —      | 7<br>4    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 8<br>4          |
| 瑞典  | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 5<br>4    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 5<br>4          |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | —               |
| 瑞西  | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | 1<br>1 | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 1<br>1          |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 1<br>—    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 1<br>—          |
| 葡西  | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 2<br>2    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 2<br>3          |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | —         | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | —               |
| 希臘  | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 5<br>8    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 5<br>8          |
|     | 人{ 男女 | —            | —        | —          | —          | —        | —      | —         | —      | 1<br>—    | —      | —      | —      | —      | —        | —        | —            | —            | —          | —         | 1<br>—          |
| 合 計 | 男     | 1,682        | 31       | 348        | 570        | 79       | 2      | 454       | 6      | 481       | 5      | 1      | 2      | 6      | 368      | 171      | 5,124        | 3,124        | 369        | 132       | 12,955          |
|     | 女     | 219          | 14       | 131        | 207        | 26       | 5      | 53        | 3      | 173       | —      | —      | —      | 2      | 3        | 3        | 436          | 328          | 228        | 65        | 1,896           |
| 合 計 | 計     | 1,901        | 45       | 479        | 777        | 105      | 7      | 507       | 9      | 654       | 5      | 1      | 2      | 8      | 371      | 174      | 5,560        | 3,452        | 597        | 197       | 14,851          |



# 青島港出入船舶旅客

(大正十年八月)

## 入 港 上 陸 之 部

| 區 別      | 男 女 別 | 大 連   | 日 本 | 內 地 | 地 區 | 朝 鮮 | 安 東 縣 | 天 津 | 芝 罘 | 上 海 | 香 港 | 浦 鹽 | 石 臼 所 | 海 州 | 山 東 省 | 江 蘇 省 | 福 建 省 | 關 東 州 | 計      |
|----------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 日 本 人    | 男     | 332   | 46  | 279 | 532 | 71  | 2     | —   | 4   | 63  | —   | —   | —     | 14  | —     | —     | —     | —     | 1,343  |
| 支 那 人    | 女     | 70    | 19  | 142 | 316 | 45  | —     | —   | —   | 12  | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 604    |
| 英 國 人    | 男     | 3,168 | 5   | 27  | 6   | —   | 5     | 896 | 12  | 3   | 481 | —   | 350   | 361 | 2,121 | 733   | 292   | 29    | 8,688  |
|          | 女     | 230   | —   | —   | —   | —   | 2     | 76  | —   | 1   | 72  | —   | 21    | 26  | 628   | 321   | 128   | 10    | 1,528  |
|          | 男     | 1     | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —   | —   | 26  | 1   | —     | 13  | —     | —     | —     | —     | 30     |
|          | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 29  | 2   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 31     |
| 露 國 人    | 男     | 26    | —   | 5   | —   | —   | —     | —   | 3   | 22  | —   | 3   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 59     |
| 米 國 人    | 女     | 21    | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | 4   | 23  | —   | 5   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 54     |
| 獨 逸 人    | 男     | 5     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 41  | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 46     |
|          | 女     | 2     | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | 3   | 15  | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 21     |
|          | 男     | —     | —   | 1   | 1   | —   | —     | —   | —   | 9   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 11     |
|          | 女     | —     | —   | —   | 2   | —   | —     | —   | —   | 2   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 4      |
| 佛 國 人    | 男     | —     | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 2      |
| 伊 太 利 人  | 女     | —     | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
| 波 蘭 人    | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 4   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 4      |
|          | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | 1   | —     | —     | —     | —     | 1      |
| 和 蘭 人    | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 2   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 2      |
| 葡 萄 牙 人  | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
| 白 耳 義 人  | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 8   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 8      |
|          | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 9   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 9      |
|          | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
|          | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
| 丁 抹 人    | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 3   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 3      |
| 瑞 西 人    | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
| 奧 國 人    | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
|          | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 2   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 2      |
| 西 班 牙 人  | 男     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | —      |
| レト ヴ ァ 人 | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 1      |
|          | 男     | 7     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | 8      |
|          | 女     | —     | —   | —   | —   | —   | —     | —   | —   | 1   | —   | —   | —     | —   | —     | —     | —     | —     | —      |
| 合 計      | 男     | 3,533 | 51  | 314 | 539 | 71  | 7     | 876 | 12  | 10  | 655 | 1   | 353   | 361 | 2,121 | 733   | 292   | 29    | 10,204 |
|          | 女     | 331   | 19  | 145 | 318 | 45  | 2     | 76  | —   | 8   | 170 | 2   | 25    | 26  | 628   | 321   | 128   | 10    | 2,268  |
| 計        |       | 3,864 | 70  | 459 | 857 | 116 | 9     | 952 | 12  | 18  | 825 | 3   | 378   | 387 | 2,749 | 1,054 | 420   | 39    | 12,472 |

青島取引所重要物產出來高表

(八月中)

落花生實

| 日  | 付 | 甲號八月十五日限    |            |    |            |    |            | 車數計 |
|----|---|-------------|------------|----|------------|----|------------|-----|
|    |   | 車數          | 信託<br>帳入值段 | 車數 | 信託<br>帳入值段 | 車數 | 信託<br>帳入值段 |     |
| 一  | 日 | —           | —          | —  | —          | —  | —          | —   |
| 二  | 日 | 1           | 7.47       | —  | —          | —  | —          | 1   |
| 三  | 日 | —           | —          | —  | —          | —  | —          | —   |
| 四  | 日 | —           | —          | —  | —          | —  | —          | —   |
| 五  | 日 | —           | —          | —  | —          | —  | —          | —   |
| 六  | 日 | 18          | 6.85       | —  | —          | —  | —          | 18  |
| 七  | 日 | —           | —          | —  | —          | —  | —          | —   |
| 八  | 日 | 12          | 6.67       | —  | —          | —  | —          | 12  |
| 九  | 日 | 4           | 6.67       | —  | —          | —  | —          | 4   |
| 十  | 日 | 12          | 6.66       | —  | —          | —  | —          | 12  |
| 十一 | 日 | 5           | 6.78       | —  | —          | —  | —          | 5   |
| 十二 | 日 | 21          | 6.81       | —  | —          | —  | —          | 21  |
| 十三 | 日 | 21          | 6.80       | —  | —          | —  | —          | 21  |
| 十四 | 日 | (十三日以後出來不申) |            | —  | —          | —  | —          | —   |
| 十五 | 日 | 94          | —          | —  | —          | —  | —          | 94  |

落花生油粗油

| 日   | 付 | 甲號八月十五日限 |           | 甲號九月十五日限 |            |    |            | 車數計   |
|-----|---|----------|-----------|----------|------------|----|------------|-------|
|     |   | 車數       | 信託<br>帳入值 | 車數       | 信託<br>帳入值段 | 車數 | 信託<br>帳入值段 |       |
| 一   | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 二   | 日 | 407      | 17.05     | —        | —          | —  | —          | 407   |
| 三   | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 四   | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 五   | 日 | 326      | 16.40     | —        | —          | —  | —          | 326   |
| 六   | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 七   | 日 | 350      | 15.80     | —        | —          | —  | —          | 350   |
| 八   | 日 | 305      | 16.00     | —        | —          | —  | —          | 305   |
| 九   | 日 | 139      | 16.05     | 5        | 16.70      | —  | —          | 144   |
| 十   | 日 | 328      | 15.65     | 48       | 16.30      | —  | —          | 376   |
| 十一  | 日 | 228      | 15.60     | 87       | 16.10      | —  | —          | 315   |
| 十二  | 日 | 575      | 14.95     | 243      | 15.45      | —  | —          | 818   |
| 十三  | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 十四  | 日 | 259      | 14.15     | 179      | 15.05      | —  | —          | 438   |
| 十五  | 日 | 270      | 13.65     | 220      | 14.55      | —  | —          | 490   |
| 十六  | 日 | 269      | 12.60     | 342      | 13.85      | —  | —          | 611   |
| 十七  | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 十八  | 日 | 185      | 12.85     | 346      | 14.15      | —  | —          | 531   |
| 十九  | 日 | 150      | 12.25     | 328      | 13.65      | —  | —          | 478   |
| 二十  | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 廿一  | 日 | 103      | 12.45     | 238      | 14.05      | —  | —          | 341   |
| 廿二  | 日 | 199      | 13.10     | 722      | 14.65      | —  | —          | 921   |
| 廿三  | 日 | —        | —         | 562      | 15.40      | —  | —          | 562   |
| 廿四  | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 廿五  | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 廿六  | 日 | —        | —         | 537      | 15.25      | —  | —          | 537   |
| 廿七  | 日 | —        | —         | 457      | 15.90      | —  | —          | 457   |
| 廿八  | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 廿九  | 日 | —        | —         | 654      | 15.20      | —  | —          | 654   |
| 三十  | 日 | —        | —         | 220      | 15.35      | —  | —          | 220   |
| 三十一 | 日 | —        | —         | —        | —          | —  | —          | —     |
| 合計  |   | 4,093    | —         | 5,188    | —          | —  | —          | 9,281 |

| 品名                  | 發著 | 青島驛     |       | 大港驛     |     | 埠頭荷扱所   |     | 計        |
|---------------------|----|---------|-------|---------|-----|---------|-----|----------|
|                     |    | 一車扱     | 小口扱   | 一車扱     | 小口扱 | 一車扱     | 小口扱 |          |
| 木雜貨<br>（表中記載ノモノヲ除ク） | 粉  | 15.0    | —     | —       | —   | —       | —   | 15.0     |
|                     | 貨  | 861.5   | 2.8   | 6.6     | —   | 7.3     | —   | 878.2    |
|                     | 寸  | 47.5    | 2.1   | 1.8     | —   | —       | —   | 51.4     |
|                     | 貨  | 14.0    | 3.1   | 221.5   | —   | 70.0    | —   | 308.6    |
| 燐火銅                 | 寸材 | 16.0    | —     | —       | —   | 242.1   | —   | 258.1    |
|                     | 藥  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 貨  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 貨  | 18.0    | 9.3   | —       | —   | —       | —   | 27.3     |
| 青銅家                 | 銅  | —       | 5.4   | —       | —   | —       | —   | 5.4      |
|                     | 貨  | —       | 0.2   | —       | —   | —       | —   | 0.2      |
|                     | 具  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 具  | 2.7     | 0.7   | —       | —   | 74.     | —   | 8.1      |
| 麻袋及布                | 袋  | 0.2     | 7.1   | 3.9     | —   | 8.9     | 0.2 | 22.8     |
|                     | 袋  | —       | 1.4   | 8.8     | 0.2 | —       | —   | 10.6     |
|                     | 布  | 139.1   | —     | —       | —   | —       | —   | 161.2    |
|                     | 布  | 0.2     | 21.8  | 0.3     | —   | —       | —   | 15.1     |
| 機蠟                  | 械  | —       | 12.5  | 0.2     | 2.2 | —       | —   | 460.7    |
|                     | 燭  | —       | —     | —       | —   | 460.0   | 0.7 | —        |
|                     | 燭  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | 0.1      |
|                     | 燭  | —       | —     | —       | —   | 0.1     | —   | —        |
| 容飲料                 | 器  | 44.5    | 15.2  | 31.4    | —   | —       | —   | 91.1     |
|                     | 水  | 27.6    | 4.0   | 66.6    | 1.8 | —       | —   | 100.0    |
|                     | 子  | —       | 4.2   | —       | —   | —       | —   | 4.2      |
|                     | 子  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
| 鷄其                  | 他  | —       | —     | —       | —   | 431.5   | —   | 431.5    |
|                     | 他  | 0.5     | 7.6   | —       | —   | —       | —   | 8.1      |
|                     | 他  | 28.2    | 36.0  | 35.8    | —   | 45.2    | 0.2 | 145.5    |
|                     | 他  | 271.5   | 14.3  | 17.5    | 2.0 | 91.4    | —   | 396.7    |
| 豚羊驪及驢馬              | 馬  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 馬  | 146     | —     | —       | —   | —       | —   | 146      |
|                     | 馬  | 101     | —     | —       | —   | —       | —   | 101      |
|                     | 馬  | 8       | —     | —       | —   | —       | —   | 8        |
| 馬牛                  | 馬  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 馬  | 8       | —     | —       | —   | —       | —   | 8        |
|                     | 馬  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 馬  | 1,685   | —     | —       | —   | —       | —   | 1,685    |
| 合                   | 計  | 5,533.0 | 422.1 | 1,275.7 | —   | 2,971.1 | 1.2 | 13,238.1 |
|                     | 計  | 3,853.6 | 166.1 | 2,475.0 | 9.6 | 5,472.1 | —   | 11,973.4 |
| 畜類                  | 計  | —       | —     | —       | —   | —       | —   | —        |
|                     | 計  | 1,948   | —     | —       | —   | —       | —   | 1,948    |

| 品名  | 發著         | 青島驛   |      | 大港驛   |     | 埠頭荷扱所 |     | 計     |
|-----|------------|-------|------|-------|-----|-------|-----|-------|
|     |            | 一車扱   | 小口扱  | 一車扱   | 小口扱 | 一車扱   | 小口扱 |       |
| 油肥麥 | 料種各<br>稈田眞 | 76.7  | —    | —     | —   | —     | —   | 76.7  |
|     |            | 134.4 | —    | 314.3 | —   | —     | —   | 448.7 |
|     |            | 29.8  | —    | 29.7  | —   | —     | —   | 59.5  |
|     |            | 4.8   | —    | —     | —   | —     | —   | 4.8   |
|     |            | 32.7  | 0.8  | —     | —   | —     | —   | 33.5  |
| 安藁鹽 | 平稈栗        | —     | —    | —     | —   | 29.8  | —   | 29.8  |
|     |            | 30.0  | —    | —     | —   | —     | —   | 30.0  |
|     |            | 15.0  | —    | —     | —   | —     | —   | 15.0  |
|     |            | —     | 1.2  | —     | —   | —     | —   | 1.2   |
|     |            | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 砂日ヒ | 糖酒ル        | 743.8 | 12.4 | 1.1   | —   | 207.9 | —   | 965.2 |
|     |            | —     | 0.1  | —     | —   | —     | —   | 0.1   |
|     |            | —     | 6.1  | —     | —   | —     | —   | 6.1   |
|     |            | —     | 0.7  | —     | —   | —     | —   | 0.7   |
|     |            | —     | 6.9  | —     | —   | —     | —   | 6.9   |
| 支食乾 | 那酒物        | —     | 0.1  | —     | —   | —     | —   | 0.1   |
|     |            | —     | 0.6  | —     | —   | —     | —   | 0.6   |
|     |            | 341.9 | 22.5 | —     | —   | —     | —   | 364.4 |
|     |            | 25.9  | 5.3  | —     | —   | —     | —   | 31.2  |
|     |            | —     | 3.3  | —     | —   | —     | —   | 2.3   |
| 野鷄藍 | 桑卵         | 42.3  | 3.2  | 2.6   | —   | —     | —   | 48.1  |
|     |            | 11.1  | 1.0  | —     | —   | —     | —   | 12.1  |
|     |            | 63.9  | 50.7 | 66.1  | 1.0 | —     | —   | 181.7 |
|     |            | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
|     |            | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 染藥曹 | 塗及藥料材達     | 94.7  | 16.6 | —     | —   | 2.8   | —   | 114.1 |
|     |            | 1.0   | 1.9  | 10.6  | —   | 19.4  | —   | 32.9  |
|     |            | 31.0  | 31.6 | 6.6   | —   | 16.3  | —   | 85.5  |
|     |            | 0.1   | 2.2  | 3.3   | 0.3 | —     | —   | 5.9   |
|     |            | 14.6  | 0.2  | 2.7   | —   | 42.8  | —   | 60.3  |
| 石煙葉 | 鹼草草        | —     | 2.3  | —     | —   | —     | —   | 2.3   |
|     |            | 19.8  | —    | —     | —   | —     | —   | 19.8  |
|     |            | 22.8  | 55.0 | —     | —   | 7.5   | —   | 85.3  |
|     |            | 9.0   | 4.3  | —     | —   | —     | —   | 13.3  |
|     |            | —     | 0.2  | 20.0  | 0.2 | 178.4 | —   | 198.8 |
| 茶豚羊 | 毛毛         | 121.6 | 2.7  | —     | —   | —     | —   | 124.3 |
|     |            | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
|     |            | 9.9   | 0.4  | —     | —   | —     | —   | 10.3  |
|     |            | —     | —    | 4.9   | —   | 11.0  | —   | 15.9  |
|     |            | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 獸牛豚 | 骨皮皮        | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
|     |            | 47.7  | —    | 16.6  | —   | —     | —   | 64.3  |
|     |            | 4.3   | 0.6  | —     | —   | —     | —   | 4.9   |
|     |            | 2.4   | 1.7  | —     | —   | —     | —   | 4.1   |
|     |            | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 魚昆簾 | 布其ノ他海草類    | 29.7  | 3.5  | —     | —   | —     | —   | 33.2  |
|     |            | 232.0 | 19.0 | —     | —   | —     | —   | 251.0 |
|     |            | —     | 0.1  | —     | —   | —     | —   | 0.1   |
|     |            | —     | 0.3  | —     | —   | —     | —   | 0.3   |
|     |            | —     | 0.1  | —     | —   | —     | —   | 0.1   |



| 品名            | 發著 | 青島驛   |      | 大港驛   |     | 埠頭荷扱所 |     | 計     |
|---------------|----|-------|------|-------|-----|-------|-----|-------|
|               |    | 一車扱   | 小口扱  | 一車扱   | 小口扱 | 一車扱   | 小口扱 |       |
| 高粱            | 梁麥 | 297.1 | —    | 36.9  | —   | 117.9 | —   | 451.9 |
| 小米            | 麥  | 548.4 | —    | —     | —   | —     | —   | 548.4 |
|               |    | 1.3   | —    | 74.4  | —   | —     | —   | 75.9  |
|               |    | 8.0   | 26.1 | —     | —   | —     | —   | 34.1  |
|               |    | 67.9  | —    | —     | —   | —     | —   | 67.9  |
| 穀類(表中記載モノヲ除ク) |    | 30.8  | 0.3  | —     | —   | —     | —   | 31.1  |
|               |    | 28.9  | 2.5  | 35.8  | —   | —     | —   | 67.2  |
| 落花生           | 生  | 1.0   | —    | 9.6   | —   | —     | —   | 10.6  |
| 麥             | 粉  | 48.0  | 1.2  | 17.8  | —   | 902.9 | —   | 969.9 |
|               |    | 46.2  | 5.7  | —     | —   | —     | —   | 51.9  |
|               |    | 444.9 | 0.8  | —     | —   | —     | —   | 445.7 |
| 陶磁器及土器        |    | —     | —    | 0.5   | —   | —     | —   | 0.5   |
|               |    | 27.0  | 0.1  | 12.0  | —   | —     | —   | 39.1  |
| 支那紙           |    | 151.5 | 0.6  | 2.5   | —   | —     | —   | 154.6 |
|               |    | 3.8   | 3.9  | —     | 0.3 | —     | —   | 5.0   |
| 紙(支那紙ヲ除ク)     |    | —     | 2.2  | —     | —   | 28.7  | —   | 30.9  |
|               |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 麻             |    | —     | 0.4  | —     | —   | —     | —   | 0.4   |
|               |    | —     | 0.7  | —     | —   | —     | —   | 0.7   |
| 綿             | 花  | 18.0  | 1.1  | 1.7   | —   | 518.5 | —   | 539.3 |
|               |    | 61.4  | —    | 62.7  | —   | —     | —   | 124.1 |
| 綿             | 布  | 136.1 | 7.2  | —     | —   | 14.6  | —   | 157.9 |
|               |    | 4.8   | 8.3  | —     | —   | —     | —   | 13.1  |
| 綿             | 絲  | 621.2 | 57.6 | 7.9   | —   | —     | —   | 686.7 |
|               |    | 1.7   | 1.6  | 307.4 | —   | —     | —   | 310.7 |
| 綿製            | 品  | —     | 0.2  | —     | —   | —     | —   | 0.2   |
|               |    | —     | 2.6  | —     | —   | —     | —   | 2.6   |
| 絹絲(屑ヲ含ム)      |    | 50.8  | 1.8  | —     | 0.6 | —     | —   | 53.2  |
| 絹布類           |    | —     | 0.1  | —     | —   | —     | —   | 0.1   |
|               |    | 2.2   | 4.9  | —     | —   | —     | —   | 7.1   |
| 繭(屑繭ヲ含ム)      |    | 1.2   | —    | 7.3   | 0.1 | 9.6   | —   | 18.2  |
| 棗             |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 梨             |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 乾             |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 胡椒            | 柿  | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
|               | 桃  | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 密             | 柑  | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 瓜及西瓜          |    | 228.1 | 1.9  | 73.0  | —   | —     | —   | 303.0 |
| 瓜             | 子  | —     | 1.9  | —     | —   | —     | —   | 1.9   |
|               |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
| 果實(表中記載モノヲ除ク) |    | 39.9  | 0.2  | —     | —   | —     | —   | 40.1  |
|               |    | —     | —    | 450.2 | —   | 283.1 | —   | 733.3 |
| 石油            |    | 40.0  | —    | —     | —   | —     | —   | 40.0  |
| 落花生油          |    | 400.6 | 0.2  | 526.5 | —   | —     | —   | 927.3 |
| 豆油            |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
|               |    | 82.6  | 1.9  | 61.8  | —   | —     | —   | 146.3 |
| 牛油            |    | —     | —    | —     | —   | —     | —   | —     |
|               |    | —     | 1.4  | 2.9   | —   | 0.5   | —   | 4.8   |
| 油類(表中記載モノヲ除ク) |    | 12.6  | 4.1  | —     | —   | 11.6  | 0.1 | 28.4  |
|               |    | 3.3   | 1.5  | —     | —   | —     | —   | 4.8   |

| 品名    | 單位 | 移入     | 移出  | 灣內運輸   | 品名     | 單位 | 移入    | 移出  | 灣內運輸  |
|-------|----|--------|-----|--------|--------|----|-------|-----|-------|
| 花胡桐上次 | 擔  | 28,366 | 960 | 11,873 | 曹麥牛重輕  | 擔  | —     | 535 | 3     |
| 生麻    | 同  | —      | —   | 4      | 稈      | 同  | —     | —   | —     |
| 油油油紙紙 | 同  | 6      | 25  | 2      | 木      | 同  | —     | —   | —     |
| 油油油紙紙 | 同  | 2      | —   | —      | 頭      | 同  | —     | —   | —     |
| 椒柿豚器草 | 同  | —      | —   | 11     | 葉蘿大鮮粉  | 同  | —     | —   | 123   |
| 鹽     | 同  | —      | 249 | —      | 胡椒木雜三堯 | 同  | —     | —   | 90    |
| 鼠仁子麻  | 同  | 94     | —   | 10     | 桃條桿木紙豆 | 同  | —     | —   | 4,622 |
|       | 同  | —      | —   | 449    |        | 同  | —     | —   | —     |
|       | 同  | 2      | —   | 15,875 |        | 同  | —     | —   | —     |
|       | 同  | —      | —   | 26     |        | 同  | 1,500 | 30  | 493   |
|       | 同  | —      | —   | 32     |        | 同  | 793   | —   | 248   |
|       | 同  | 93     | —   | —      |        | 同  | 5,108 | —   | —     |
|       |    |        |     |        |        |    | 2,332 | —   | 74    |

## 青島三驛發着貨物統計

(大正十年八月)

(單位噸 獸類ノ頭數)

| 品名 | 發著      | 青島驛   |      | 大港驛   |     | 埠頭荷扱所   |     | 計       |
|----|---------|-------|------|-------|-----|---------|-----|---------|
|    |         | 一車扱   | 小口扱  | 一車扱   | 小口扱 | 一車扱     | 小口扱 |         |
| 石  | 炭       | 60.0  | 1.7  | —     | —   | 15.0    | —   | 76.7    |
| コ  | ス       | 825.0 | 0.4  | 80.6  | —   | 1,935.0 | —   | 2,841.0 |
| 石  | 炭       | 165.0 | —    | —     | —   | 1,129.8 | —   | 1,294.8 |
|    |         | —     | —    | —     | —   | 528.0   | —   | 528.0   |
| 煉瓦 | 瓦       | —     | 0.1  | —     | —   | 63.0    | —   | 63.1    |
| セ  | メ       | 25.6  | —    | 30.0  | —   | —       | —   | 55.6    |
| 硝  | 子       | 56.1  | 6.5  | —     | —   | 174.2   | —   | 236.8   |
|    |         | —     | 0.6  | 150.0 | 0.9 | 208.6   | —   | 350.1   |
|    |         | 6.9   | 1.0  | —     | —   | —       | —   | 7.9     |
|    |         | —     | 0.3  | —     | —   | —       | —   | 0.3     |
| 硝  | 子       | —     | 0.7  | —     | —   | —       | —   | 0.7     |
| 桐  | 品       | —     | 1.4  | —     | —   | —       | —   | 1.4     |
| 木材 | 板       | 331.9 | —    | 487.1 | —   | —       | —   | 819.0   |
|    |         | 194.6 | 10.9 | 363.8 | —   | 574.7   | —   | 1,144.0 |
|    |         | 7.2   | 1.0  | —     | —   | 11.2    | —   | 19.4    |
| 竹  | 割       | 6.8   | 0.1  | —     | —   | —       | —   | 6.9     |
| 石  | 白       | —     | —    | —     | —   | —       | —   | —       |
|    |         | —     | 1.2  | —     | —   | —       | —   | 1.2     |
| 石材 | 及       | 43.6  | 2.1  | 43.1  | —   | —       | —   | 88.8    |
|    |         | —     | 0.2  | —     | —   | —       | —   | 0.2     |
| 鐵板 | 鐵       | 92.4  | 13.9 | 8.7   | —   | 29.1    | —   | 144.1   |
|    |         | 0.9   | 0.3  | —     | —   | 7.4     | —   | 8.6     |
| 鐵  | 鍋       | —     | —    | —     | —   | —       | —   | —       |
|    |         | 99.3  | 0.4  | —     | —   | —       | —   | 99.7    |
| 古  | 鐵       | 154.4 | 0.4  | —     | —   | —       | —   | 154.8   |
|    |         | 29.9  | —    | 15.0  | —   | —       | —   | 44.9    |
| 大豆 | 豆       | 138.9 | 0.1  | 8.6   | —   | —       | —   | 147.6   |
|    |         | —     | —    | —     | —   | —       | —   | —       |
| 豆類 | (大豆ヲ除ク) | 47.1  | 0.2  | —     | —   | —       | —   | 47.3    |
|    |         | 20.3  | —    | —     | —   | —       | —   | 20.3    |

[illegible]

民 船 貿 易 (大正十年七月)

— 膠 海 關 統 計 —

| 品名    | 單位 | 移入     | 移出     | 灣內運輸 | 品名   | 單位 | 移入      | 移出    | 灣內運輸      |
|-------|----|--------|--------|------|------|----|---------|-------|-----------|
| 竹     | 本  | 2,000  | —      | —    | 紅    | 擔  | —       | —     | 9         |
| 豆     | 同  | 355    | —      | —    | 鷄    | 個  | 298,450 | —     | 2,381,100 |
| 黑     | 同  | 9,666  | 32     | —    | 絲    | 個  | 92,200  | —     | —         |
| 綠     | 同  | 288    | —      | —    | (麻類) | "  | —       | 72    | 9         |
| 白     | 同  | —      | —      | —    | 大    | 擔  | —       | —     | —         |
| 豆     | 同  | 7,237  | —      | 403  | 芋    | 同  | 564     | 4     | —         |
| 黃     | 同  | —      | —      | 20   | 鹽    | 同  | 2,484   | —     | 201       |
| 豆     | 同  | 2      | —      | 17   | 麥    | 同  | 1,856   | 270   | 756       |
| 骨     | 同  | 1,166  | 3      | 215  | (鮮菓) | 同  | —       | —     | 20        |
| 帽     | 個  | —      | 14,890 | —    | 林    | 同  | —       | —     | —         |
| (糧食品) | 擔  | 5      | —      | —    | 葡    | 同  | —       | —     | —         |
| 麥     | 同  | 1,601  | 21     | —    | 梨    | 同  | —       | —     | —         |
| 黍     | 同  | 4,127  | 48     | —    | 山    | 同  | 1,073   | —     | —         |
| 蜀     | 同  | 6      | —      | 949  | 蒜    | 同  | 44      | —     | —         |
| 大     | 同  | 150    | 181    | 8    | 鮮    | 同  | 990     | 96    | 4,698     |
| 高     | 同  | 45,535 | —      | 92   | 落    | 擔  | 40,456  | 7     | 13,056    |
| 玉     | 同  | —      | —      | —    | 落    | 同  | 11      | —     | —         |
| 粟     | 同  | —      | —      | —    | 生    | 同  | —       | 716   | 31        |
| 米     | 同  | —      | —      | —    | 牛    | 同  | —       | —     | —         |
| 小     | 同  | —      | —      | —    | 皮    | 同  | —       | —     | —         |
| 栗     | 同  | —      | —      | —    | 油    | 同  | —       | —     | —         |
| 磁     | 噸  | —      | 2,122  | 839  | 灰    | 同  | 130     | 700   | 238       |
| 綿     | 同  | —      | 40     | 4    | 蔗    | 擔  | 3,245   | 1,010 | 1,250     |
| 石     | 同  | —      | —      | —    | 材    | 同  | —       | —     | —         |
| コ     | 同  | 22     | 48     | 32   | 油    | 同  | —       | 362   | 4         |
| 古     | 同  | 156    | —      | 5    | 種    | 同  | —       | —     | —         |
| 棉     | 同  | —      | —      | —    | 子    | 同  | —       | —     | —         |
| 黑     | 同  | —      | —      | —    | 麻    | 同  | —       | —     | —         |

| 品 目      | 單 位   | 上 海                    | 芝 罘              | 大 連              | 其 他              | 合 計                    |
|----------|-------|------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------------|
| 生同石麥砂    | 擔斤擔   | 1<br>526<br>39         | —                | —                | —                | 1<br>526<br>39         |
| 同茶煙木高    | 草 刻 製 | —<br>1,845<br>13<br>36 | —<br>—<br>—<br>— | 1<br>—<br>—<br>— | —<br>—<br>3<br>2 | 1<br>1,845<br>16<br>38 |
| 玉小棉綃     | 蜀 製   | —<br>3,823             | —<br>—           | 1,052<br>—       | —<br>—           | —<br>1,052             |
| 黃品形田 (赤) | 擔     | —                      | —                | —                | —                | —                      |
| (白)      | 擔     | —                      | —                | —                | —                | —                      |
| 三品梁      | 擔     | —                      | —                | —                | —                | —                      |
| 黍麥花品     | 擔     | —                      | —                | —                | —                | —                      |

輸出支那品仕向地別

(大正十年七月)

| 品 目   | 單 位 | 日 本        | 露 國   | 英 國    | 香 港    | 其ノ他    | 大 連    | 上 海   | 其ノ他    | 合 計        |
|-------|-----|------------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|------------|
| 生豆黃牛麥 | 頭擔  | 493        | —     | —      | —      | —      | 182    | 4     | —      | 679        |
| 牛粕豆肉酒 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | 1,555  | 1,555      |
| 歐銅豚セ山 | 打   | 9,602      | 1,352 | —      | —      | —      | —      | 28    | —      | 10,982     |
| 骨塊毛ト炭 | 噸   | 8          | —     | —      | —      | —      | 24,408 | 2,200 | 4,800  | 31,416     |
| ス花絲   | 擔   | 1,786      | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | 1,786      |
| 棗     | 擔   | 215        | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | 215        |
| 白黃卵魚鮮 | 個擔  | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | —          |
| 品生仁髮子 | 擔   | 3,947      | 1,070 | 2,475  | 1,963  | —      | 490    | 9,925 | 220    | 20,090     |
| 礦油油   | 擔   | 2,237      | —     | —      | —      | —      | 120    | —     | —      | 2,357      |
| 豚 仁子麻 | 擔   | 46         | —     | —      | —      | —      | 6      | —     | —      | 52         |
| 鐵藥豆落梨 | 擔   | —          | —     | —      | 311    | —      | 474    | 164   | 89     | 474        |
| 鹽鹽杏仁胡 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | 564        |
| 蛋蛋鷄鹽果 | 擔   | 4          | —     | —      | —      | —      | —      | 50    | —      | 54         |
| 硝落同頭麥 | 個擔  | 2          | —     | —      | —      | —      | —      | 279   | —      | 281        |
| 鐵藥豆落梨 | 擔   | 17,736,275 | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | 17,736,275 |
| 鹽鹽杏仁胡 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | —          |
| 蛋蛋鷄鹽果 | 擔   | 258        | —     | —      | —      | —      | —      | 1,717 | —      | 1,975      |
| 硝落同頭麥 | 擔   | —          | —     | —      | 10     | —      | 8      | 45    | 292    | 355        |
| 鐵藥豆落梨 | 擔   | 1,947      | —     | 1,176  | —      | 6,831  | —      | 1,845 | 311    | 12,110     |
| 鹽鹽杏仁胡 | 擔   | 20,219     | 29    | 840    | —      | 22,653 | —      | 9,264 | 11,133 | 64,138     |
| 蛋蛋鷄鹽果 | 擔   | 21         | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | 21         |
| 硝落同頭麥 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | —          |
| 鐵藥豆落梨 | 擔   | 94,113     | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | 94,113     |
| 鹽鹽杏仁胡 | 擔   | 1          | —     | —      | 247    | —      | 31     | —     | —      | 279        |
| 蛋蛋鷄鹽果 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | —          |
| 硝落同頭麥 | 擔   | 199        | —     | 12,963 | 938    | 1,695  | —      | —     | 445    | 16,240     |
| 鐵藥豆落梨 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | —          |
| 鹽鹽杏仁胡 | 擔   | —          | —     | —      | —      | —      | —      | —     | —      | —          |
| 蛋蛋鷄鹽果 | 擔   | 225,104    | —     | —      | 53,760 | —      | —      | —     | —      | 278,864    |
| 硝落同頭麥 | 擔   | —          | —     | —      | 13     | —      | —      | —     | —      | 13         |
| 鐵藥豆落梨 | 擔   | 468        | —     | —      | —      | —      | —      | 327   | —      | 795        |



| 品名    | 單位      | 日本      | 英國      | 米國 | 香港     | 其他    | 上海     | 大連      | 其他 | 合計        |
|-------|---------|---------|---------|----|--------|-------|--------|---------|----|-----------|
| 紙胡    | 擔       | 1,125   | —       | 38 | 21     | —     | 184    | 7       | —  | 1,375     |
| 昆日    | 布       | —       | —       | —  | 264    | —     | —      | —       | —  | 264       |
| 米     | 擔       | 4,729   | —       | —  | 1,849  | —     | —      | —       | —  | 6,578     |
| 本     | 布       | 14      | —       | —  | 97     | —     | 7      | —       | —  | 118       |
| 布     | 酒       | 497     | —       | —  | —      | —     | —      | —       | —  | 497       |
| 石同曹醬砂 | 條用達油(赤) | —       | —       | —  | —      | —     | 20     | 15      | —  | 35        |
| 同同同茶木 | 精       | 2,992   | —       | —  | —      | —     | 420    | —       | —  | 3,412     |
| 同同同茶木 | 糖       | 10      | —       | —  | 339    | —     | 800    | —       | —  | 1,149     |
| 同同同茶木 | (白)製水菓  | 367     | —       | —  | —      | —     | —      | 17      | —  | 384       |
| 同同同茶木 | 材       | —       | —       | —  | 23,213 | —     | —      | —       | —  | 23,213    |
| 同同同茶木 | (堅)     | 970     | —       | —  | 1,739  | —     | 540    | —       | —  | 3,249     |
| 同同同茶木 | (軟)柔    | 3,069   | —       | —  | 15,715 | —     | —      | —       | —  | 18,784    |
| 同同同茶木 | (軟)柔    | 20      | —       | —  | 2,534  | —     | —      | —       | —  | 2,534     |
| 同同同茶木 | (軟)柔    | 23,169  | —       | —  | —      | —     | 21,805 | —       | —  | 44,974    |
| 同同同茶木 | (軟)柔    | 651,047 | 770,933 | —  | —      | 9,082 | 49,600 | 107,984 | —  | 1,588,646 |
| 同同同茶木 | (軟)柔    | 198     | —       | —  | —      | —     | 4      | —       | —  | 202       |

輸入支那品仕出地別

(大正十年七月)

| 品目      | 單位 | 上海     | 芝罘 | 大連    | 其他  | 合計     |
|---------|----|--------|----|-------|-----|--------|
| (綿) 雲土花 | 疋  | 15,005 | —  | 200   | —   | 15,205 |
| 色       | 擔  | 1,790  | —  | 15    | —   | 1,805  |
| 布       | 布  | 3      | —  | 2     | —   | 5      |
| 土       | 布  | 120    | —  | 11    | —   | 131    |
| 絲       | 絲  | 8,174  | —  | —     | —   | 8,174  |
| 石       | 個  | —      | —  | —     | —   | —      |
| 幕       | 擔  | 6,800  | —  | —     | —   | 6,800  |
| 簾       | 簾  | 15     | —  | 1,773 | —   | 1,788  |
| 簾       | 簾  | 22     | —  | —     | —   | 22     |
| 蠟       | 蠟  | 27     | —  | —     | —   | 27     |
| 米       | 米  | 56     | —  | 2     | —   | 58     |
| 磁       | 磁  | 154    | —  | —     | —   | 154    |
| 紙       | 紙  | 5      | —  | —     | —   | 5      |
| 紙       | 紙  | 1,378  | 18 | 10    | 2   | 1,408  |
| 紙       | 紙  | —      | —  | —     | —   | —      |
| 紙       | 紙  | 850    | —  | —     | —   | 850    |
| 紙       | 紙  | 750    | —  | 38    | —   | 788    |
| 紙       | 紙  | 16     | —  | —     | —   | 16     |
| 紙       | 紙  | 12     | —  | —     | —   | 12     |
| 紙       | 紙  | 15     | —  | —     | —   | 15     |
| 紙       | 紙  | 1,257  | —  | —     | —   | 1,257  |
| 紙       | 紙  | 389    | —  | —     | —   | 389    |
| 紙       | 紙  | 4,795  | —  | —     | 763 | 5,558  |
| 紙       | 紙  | 188    | —  | —     | 660 | 848    |
| 紙       | 紙  | 632    | —  | —     | —   | 632    |
| 紙       | 紙  | 254    | —  | —     | —   | 254    |
| 紙       | 紙  | 130    | —  | 5     | —   | 135    |
| 紙       | 紙  | —      | —  | —     | —   | —      |
| 紙       | 紙  | —      | —  | —     | —   | —      |

| 品名          | 單位 | 日本     | 英國  | 米國 | 香港    | 其他        | 上海     | 大連  | 其他 | 合計        |
|-------------|----|--------|-----|----|-------|-----------|--------|-----|----|-----------|
| 鐵屑鐵板        | 擔  | 362    | —   | —  | 1,883 | —         | 184    | —   | —  | 2,429     |
| 鐵及屑鐵        | 擔  | —      | —   | —  | 882   | —         | 724    | —   | —  | 1,606     |
| 鐵片及鐵        | 擔  | —      | —   | —  | 430   | —         | 191    | —   | —  | 621       |
| 鐵線板         | 擔  | 311    | —   | —  | 261   | —         | 156    | —   | —  | 728       |
| 鐵及軟鐵        | 擔  | —      | —   | —  | 19    | —         | 24     | —   | —  | 43        |
| 鐵鍍鉛鋼        | 擔  | 2,914  | —   | —  | 4,334 | —         | 2,979  | —   | —  | 10,227    |
| 鐵片塊鐵        | 擔  | 82     | —   | —  | 61    | —         | 250    | 21  | —  | 415       |
| 鐵線          | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| 鐵片及鐵        | 擔  | —      | —   | —  | 128   | —         | 31     | —   | —  | 155       |
| 鐵線袋酒        | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | 2      | —   | —  | 2         |
| 葉白(雜)       | 擔  | 244    | —   | —  | 7,100 | —         | 713    | —   | —  | 8,057     |
| 麻麥          | 擔  | 800    | —   | —  | —     | 82        | 30     | 20  | —  | 932       |
| 海綿          | 擔  | 22     | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | 22        |
| 銅鈕          | 擔  | 6      | —   | —  | —     | —         | 6      | 2   | —  | 14        |
| 銅花鈕         | 擔  | 954    | 500 | —  | —     | —         | 400    | —   | —  | 1,854     |
| 銅燭          | 擔  | 1      | —   | —  | —     | —         | 295    | —   | —  | 296       |
| セ同木磁紙       | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| メ器卷         | 擔  | 4,650  | —   | —  | —     | —         | —      | 48  | —  | 4,698     |
| ン(日本)炭器草    | 擔  | 1,854  | —   | —  | —     | —         | 12     | 73  | —  | 1,939     |
| ト品炭器草       | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | 2,070  | —   | 60 | 2,130     |
| 同掛石干棉       | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | 28  | —  | 28        |
| (日本)計炭貝花    | 擔  | 60     | 132 | —  | —     | —         | 156    | —   | —  | 348       |
| 置時          | 擔  | 1,756  | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | 1,756     |
| 同掛石干棉       | 擔  | 5      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | 6         |
| 同掛石干棉       | 擔  | 1,776  | —   | —  | —     | 1,351     | —      | —   | —  | 3,127     |
| (染料・顏料・塗料)  | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| ア人天白        | 擔  | 300    | —   | —  | —     | 2,949     | 14,892 | —   | —  | 18,141    |
| ニ造藍鉛        | 擔  | —      | —   | —  | —     | 750       | 962    | —   | 10 | 1,722     |
| リ液狀粉        | 擔  | 18     | —   | —  | 149   | —         | 10     | —   | —  | 177       |
| 越幾斯料器粉子     | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| ロン電磁參窓      | 擔  | 9,223  | —   | —  | —     | —         | 2,077  | —   | —  | 11,300    |
| グワード洗面      | 擔  | 40     | —   | —  | —     | —         | 41     | —   | —  | 40        |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 21     | —   | —  | —     | 2         | 185    | —   | —  | 54        |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 820    | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | 1,005     |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 862    | 298 | —  | —     | —         | 1,364  | —   | —  | 2,524     |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 582    | 28  | —  | —     | —         | 1,931  | —   | —  | 2,541     |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 26,500 | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | 26,500    |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 250    | —   | —  | —     | —         | —      | 100 | —  | 350       |
| 硝子及製洋燈(黃安莫) | 擔  | 19,360 | —   | —  | 7,500 | —         | 2,048  | —   | —  | 28,908    |
| 藥コ針石同       | 擔  | 10,762 | —   | —  | 230   | —         | 557    | 739 | —  | 12,338    |
| 藥コ針石同       | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | 101    | 7   | —  | 108       |
| 藥コ針石同       | 擔  | 11,000 | —   | —  | —     | —         | 8,000  | —   | —  | 19,000    |
| 油米品(箱入) (裸) | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| 油米品(箱入) (裸) | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| 石同同桶        | 擔  | —      | —   | —  | —     | 1,299,766 | —      | —   | —  | 1,299,766 |
| 石同同桶        | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | 10,000 | —   | —  | 10,000    |
| 石同同桶        | 擔  | —      | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | —         |
| 石同同桶        | 擔  | 88     | —   | —  | —     | —         | —      | —   | —  | 88        |

(大正十年七月)

— 膠海關貿易統計 —

## 輸入外國品仕出地別

| 品名       | 單位 | 日本     | 英國 | 米國 | 香港 | 其他 | 上海     | 大連  | 其他 | 合計     |
|----------|----|--------|----|----|----|----|--------|-----|----|--------|
| (綿製品類)   |    |        |    |    |    |    |        |     |    |        |
| 生シ一ン同    | 正  | 10,265 | —  | —  | —  | —  | 7,359  | 200 | —  | 17,824 |
| 金(米品)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 1,540  | —   | —  | 1,540  |
| 布(英品)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 1,800  | —   | —  | 1,800  |
| 同(日本品)   | "  | 8,000  | —  | —  | —  | —  | 200    | —   | —  | 8,200  |
| 晒綾雲齊布    | "  | 250    | —  | —  | —  | —  | 5,077  | —   | —  | 5,327  |
| 金(米品)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | —      |
| 巾(英品)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 60     | —   | —  | 60     |
| 市(日本品)   | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 30     | —   | —  | 30     |
| 同        | "  | —      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | —      |
| ジエ一ン同    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | —      |
| 同(米品)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 3,769  | —   | —  | 3,769  |
| 同(英品)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 240    | —   | —  | 240    |
| 同(日本品)   | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 14,429 | —   | —  | 14,429 |
| 同(日本品)   | "  | 3,500  | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | 3,500  |
| 寒綆斜捺     | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 100    | —   | —  | 100    |
| 冷紗及綿     | "  | 1,255  | —  | —  | —  | —  | 3,745  | —   | —  | 5,000  |
| 紋線綿天     | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 160    | —   | —  | 160    |
| 綆縹子布     | "  | —      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | —      |
| コフツインイグ  | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 3,261  | —   | —  | 3,261  |
| 同(染花)    | "  | 367    | —  | —  | —  | —  | 6,823  | 80  | —  | 7,270  |
| 同(染色)    | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 3,922  | —   | —  | 3,922  |
| 同(花色)    | "  | 28     | —  | —  | —  | —  | 677    | —   | —  | 705    |
| 同(色)     | "  | 120    | —  | —  | —  | —  | 284    | —   | —  | 404    |
| 緋金巾及綿天竺布 | "  | 1,500  | —  | —  | —  | —  | 340    | —   | —  | 1,840  |
| スパンニストラン | "  | —      | —  | —  | —  | —  | 263    | —   | —  | 268    |
| 綿フランケツ   | "  | 703    | —  | —  | —  | —  | 156    | —   | —  | 859    |
| 同手       | 擔打 | 210    | —  | —  | —  | —  | 314    | —   | —  | 524    |
| タ同綿同綿    | 擔  | —      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | —      |
| 織絲(日本度)  | "  | 1      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | 1      |
| 織絲(日本度)  | "  | 4,750  | —  | —  | —  | —  | 570    | —   | —  | 570    |
| 織絲(日本卷)  | 哥  | 1,486  | —  | —  | —  | —  | 38     | —   | —  | 4,789  |
| 同        |    |        |    |    |    |    | 812    | —   | —  | 2,298  |
| (毛製品類)   |    |        |    |    |    |    |        |     |    |        |
| 綾伯林雜製    | 正斤 | —      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | —      |
| 吳爾織物交    | 斤  | 1,745  | —  | —  | —  | —  | 25     | —   | —  | 25     |
| 呂絲類      |    |        |    |    |    |    |        |     |    |        |
| (金屬品)    |    |        |    |    |    |    |        |     |    |        |
| 銅銅銅      | 擔  | 5      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | 5      |
| 片板       | "  | 10     | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | 10     |
| (鐵及軟鐵新)  | "  | 6      | —  | —  | —  | —  | —      | —   | —  | 6      |

大正十年九月現在

青島實業協會員

(順序不定)

| 會員              |               | 代表者        |               | 所在        |      |
|-----------------|---------------|------------|---------------|-----------|------|
| 岩城商會支店          | 伊藤忠商事株式會社青島支店 | 上林喜三郎      | 早舟町           | 山東葉煙草株式會社 | 伊東經真 |
| 原田汽船株式會社青島支店    | 川畑竹馬          | 所澤町        | 江商株式會社青島支店    | 一宮晃       | 所澤町  |
| 日本郵船株式會社青島出張事務所 | 西岡勝三郎         | 所澤町        | 安部幸兵衛商店青島出張店  | 劉島高市      | 所澤町  |
| 日本綿花株式會社青島支店    | 鶴原梅次郎         | 葉櫻町        | 湯淺貿易株式會社青島出張所 | 小林乃       | 葉櫻町  |
| 東和公司青島支店        | 河原熊太郎         | 北京町        | 三井物產株式會社青島支店  | 櫻井信四郎     | 所澤町  |
| 東亞煙草株式會社青島販賣所   | 西村義郎          | 北京町        | 峯村洋行          | 大塚彌       | 葉櫻町  |
| 朝鮮銀行青島支店        | 讚井源輔          | 所澤町        | 合名會社鈴木商店青島出張所 | 迫田彦助      | 吳淞町  |
| 大倉商事株式會社青島出張所   | 石橋藤次郎         | 早霧町        | 中村組青島支店       | 星野佐紀      | 吳淞町  |
| 橫濱正金銀行青島支店      | 渡邊禮           | 所澤町        | 東洋鹽業株式會社青島支店  | 貝原收藏      | 大和町  |
| 大連汽船株式會社青島出張所   | 松本文三郎         | 葉櫻町        | 泰利商會          | 松崎翠       | 早霧町  |
| 大日本麥酒株式會社青島出張所  | 三宅重孝          | 鹽東鎮長通市外四方庄 | 山東興業株式會社      | 空閑知鷺治     | 葉櫻町  |
| 內外綿株式會社青島出張所    | 佐々木國藏         | 早霧町        | 吉澤洋行          | 吉澤干城      | 市場通  |
| 山田出張所           | 山田三平          | 市場通        | 青島製粉株式會社支店    | 百溪深       | 三日月町 |
| 三菱商事株式會社青島出張所   | 土屋彦俊          | 早舟町        | 新利洋行出張所       | 古賀茂登吉     | 野山町  |
| 神戸棧橋株式會社青島派出所   | 鹽谷治太郎         | 葉櫻町        | 福昌公司青島出張所     | 武田昌雄      | 若葉町  |
| 山東運輸株式會社青島支店    | 神谷武松          | 北京町        | 龍口銀行青島支店      | 原田昇       | 保定町  |
| 日華協信公司青島支店      | 千秋寬           | 若鶴町        | 濱口商事株式會社青島出張所 | 榎本勝吉      | 吳淞町  |
| 青島絲廠            | 鈴木格三郎         | 若鶴町        | 青島銀行          | 石井久次      | 市場通  |
| 山東化學工業所         | 磯野清平          | 早霧町        | 日華窯業株式會社      | 中村康之助     | 滄口町  |
| 青島鹽業株式會社        | 針貝金次郎         | 佐賀町        | 大日本紡績株式會社     | 河村英熊      | 筑後町  |
| 東洋殖產株式會社青島支店    | 田中穆           | 若鶴町        | 正隆銀行支店        | 松本正平      | 大黑町  |
| 東洋製油株式會社青島支店    | 遠藤要           | 靜岡町        |               |           |      |
| 青島取引所信託株式會社     | 峰村正三          |            |               |           |      |



大正七年八月十九日第三種郵便物認可（毎月一回二十日發行）

|       |      |        |
|-------|------|--------|
| 青島靜岡町 | 十番地  | 吉見正任   |
| 青島靜岡町 | 十四番地 | 青島實業協會 |
| 青島靜岡町 | 十四番地 | 青島新報社  |
| 青島靜岡町 | 十四番地 | 足立孝    |

(實費金參拾錢)